

ADSelfService Plusを利用するために必要な Active Directoryの権限について



目次

文書の概要	1
ADSelfService Plus概要	1
要求される権限	2
権限の構成	3
ADSelfService Plusのすべての機能を利用するには	3
パスワードリセットのセルフサービスを利用するには	11
アカウントロック解除のセルフサービスを利用するには	16
LDAP属性を変更するセルフサービスを利用するには	21
きめ細かいパスワードポリシー(PSO)を表示するには	26
グループメンバー変更のセルフサービスを利用するには	31
NTLM経由のADSelfService Plusへのシングルサインオンを利用するには	36
ログオンスクリプトを使用した強制登録を利用するには	41
削除されたユーザーレポートを表示するには	46
GINAのインストールを実行するには	46
他のアクションを実行するには	47

文書の概要

本ドキュメントでは、ADSelfService Plusにサービスアカウントとして登録するActive Directoryユーザーに対して、セルフサービス機能を使用するために必要なアクセス権限を委任する方法について説明します。ADSelfService Plusは、ユーザーがパスワードをリセット、アカウントのロックを解除、属性情報を更新、その他の機能にアクセスするために、「Domain Admin」のメンバーシップを必要としません。セルフサービス操作に必要な最小限の権限のみを手動でユーザーアカウントに委任できます。

注意:ドメインの追加中に認証の詳細を指定しない場合、ADSelfService Plusは次の2つの方法のいずれかで権限を取得します:

- ADSelfService Plusがコンソールアプリケーションとして実行しており、資格情報が提供されていない場合、デフォルトでは製品をインストールしたユーザーのアクセス権限が使用されます。
- ADSelfService Plusがサービスとして実行しており、資格情報が提供されていない場合、デフォルトではサービスを実行するために使用されたアカウントのアクセス許可が使用されます。

ADSelfService Plus概要

ADSelfService PlusはActive Directory向けのセルフサービスパスワード管理およびシングルサインオンソリューションツールです。その主要な機能は次の通りです:

- セルフサービスでパスワードリセットおよびアカウントロック解除
- パスワードとアカウントの有効期限の通知
- Active Directoryを認証基盤としたシングルサインオン
- 複数プラットフォームのパスワード同期
- パスワードポリシーを詳細に設定
- ユーザーのAD属性の更新と社員の検索

エンドユーザーにセルフサービスの権限を与えることで、パスワードに関するヘルプデスクへの問い合わせ量を削減し、従業員のダウンタイムを短縮して時間と経費を節約します。

要求されるアクセス権限

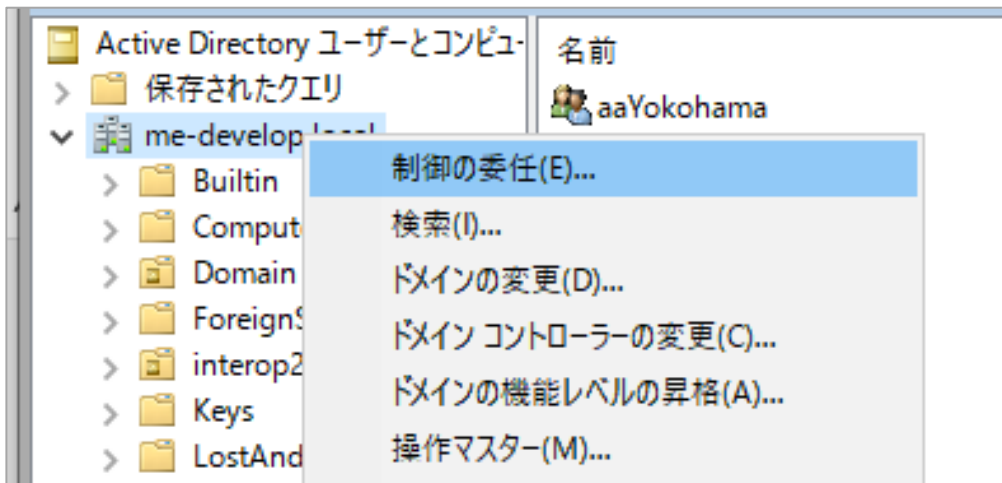
機能	要求される権限
パスワードリセットのセルフサービス	ユーザーオブジェクトのパスワードリセット ユーザーオブジェクトの[pwdLastSet]読み取り ユーザーオブジェクトの[pwdLastSet]書き込み
アカウントロック解除のセルフサービス	ユーザーオブジェクトの[lockoutTime]読み取り ユーザーオブジェクトの[lockoutTime]書き込み
ユーザーのAD属性の更新	ユーザーオブジェクトの読み取り ユーザーオブジェクトの書き込み
きめ細かいパスワードポリシーの表示	msDS-PasswordSettingsオブジェクトの読み取り msDS-PasswordSettingsContainerオブジェクトの読み取り
メールグループ管理のセルフサービス	グループオブジェクトのメンバー読み取り グループオブジェクトのメンバー書き込み
NTLM のシングルサインオン	コンピュータオブジェクトの作成 コンピュータオブジェクトの読み取り
ログオンスクリプトを使用した強制登録	ユーザーオブジェクトの[scriptPath]読み取り ユーザーオブジェクトの[scriptPath]書き込み
削除されたユーザーのレポートを閲覧	[Domain Admins] グループへの所属
GINAのインストール	[Domain Admins] グループへの所属

権限の構成

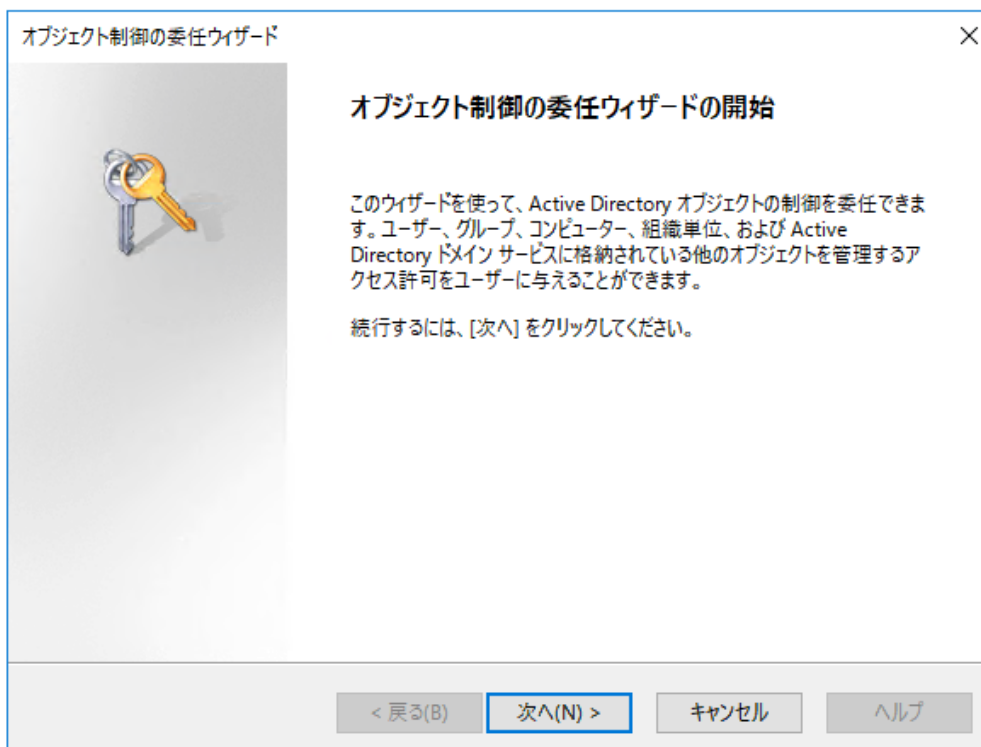
ADSelfService Plusのすべての機能を利用するには

ユーザーがADSelfService Plusのすべての機能を利用するには、次の権限を付与する必要があります：

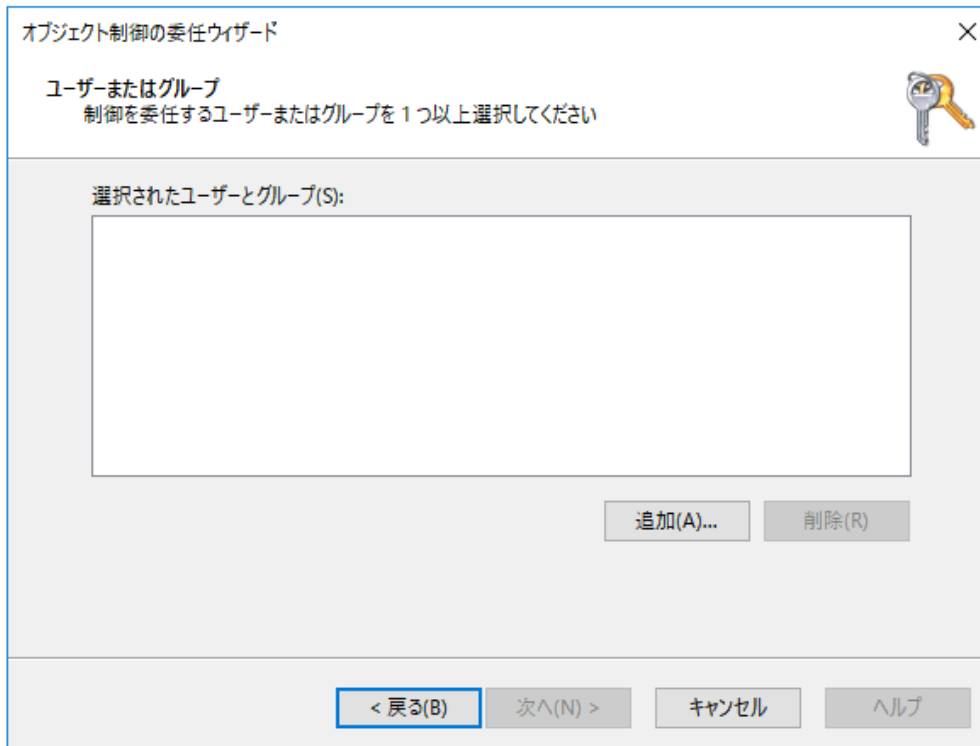
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



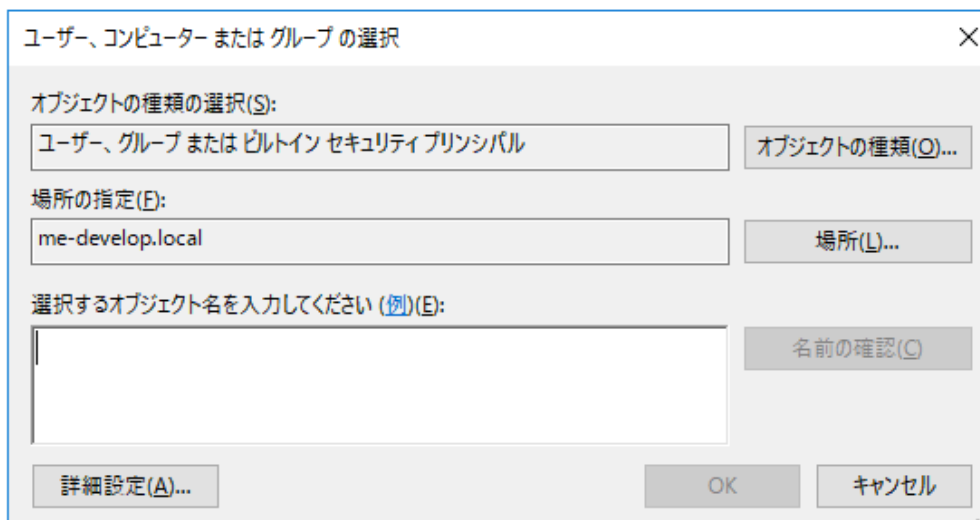
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



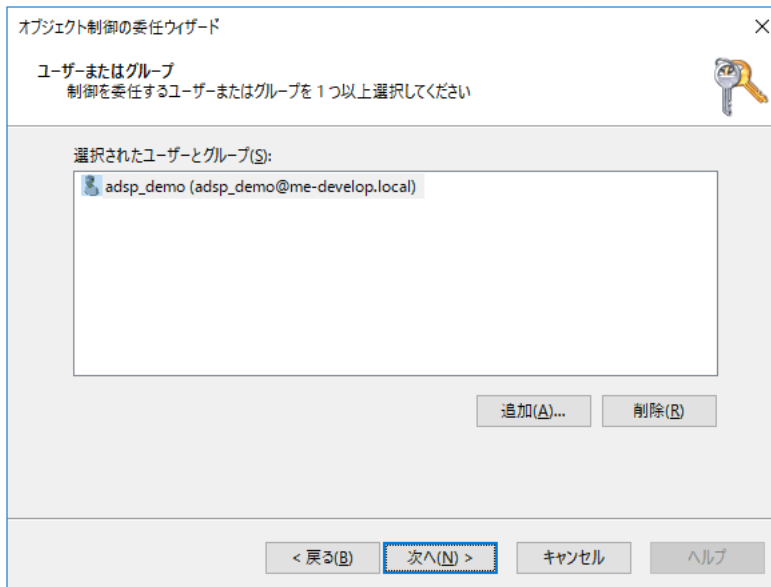
3. 「追加」をクリックします



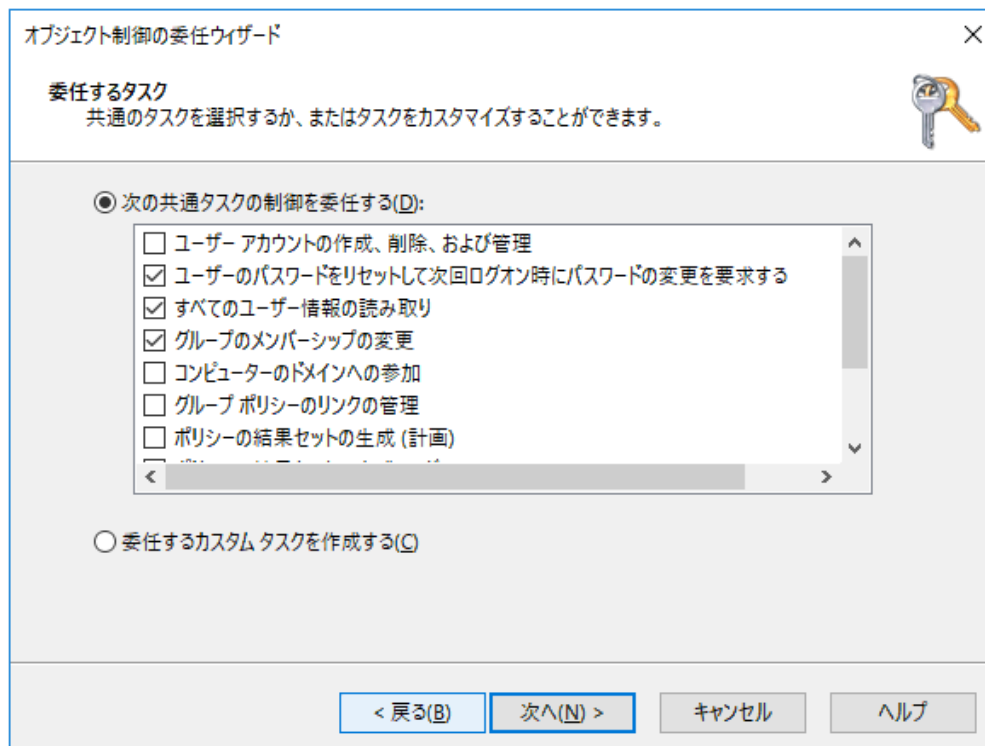
4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします




6. 「委任するタスク」画面では「次の共通タスクの制御を委任する」を選択し、以下のタスクを有効化して「次へ」をクリックします
- 「ユーザーのパスワードをリセットして次回ログオン時にパスワードの変更を要求する」
 - 「すべてのユーザー情報読み取り」
 - 「グループのメンバーシップの変更」



7. 「完了」をクリックします
8. ステップ1~4を繰り返して再度「委任するタスク」画面に進みます
9. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします
10. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。一覧から「ユーザーオブジェクト」を選択し、「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード ×

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクのスコップを指定してください。 

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(O):

サイトの設定 オブジェクト

サブネット オブジェクト

サブネット コンテナ オブジェクト

プリンター オブジェクト

ユーザー オブジェクト

信頼される側のドメイン オブジェクト

サブフォルダー オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(C)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

11. 「アクセス許可」画面では「全般」を選択します
 「アクセス許可」では、以下を有効化して「次へ」をクリックします
 「読み取り」
 「書き込み」 「完了」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

アクセス許可
委任するアクセス許可を選択してください。

これらのアクセス許可を表示します:

- 全般(G)
- プロパティ固有(P)
- 特定の子オブジェクトの作成または削除(C)

アクセス許可(E):

- フルコントロール
- 読み取り
- 書き込み
- すべての子オブジェクトの作成
- すべての子オブジェクトの削除
- すべてのプロパティの読み取り
- すべてのプロパティの書き込み

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

12. ステップ1~4を繰り返して再度「委任するタスク」画面に進みます
13. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

委任するタスク
共通のタスクを選択するか、またはタスクをカスタマイズすることができます。

次の共通タスクの制御を委任する(D):

- ユーザー アカウントの作成、削除、および管理
- ユーザーのパスワードをリセットして次回ログオン時にパスワードの変更を要求する
- すべてのユーザー情報の読み取り
- グループのメンバーシップの変更
- コンピューターのドメインへの参加
- グループ ポリシーのリンクの管理
- ポリシーの結果セットの生成 (計画)

委任するカスタムタスクを作成する(C)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

14. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。以下を有効化し、「次へ」をクリックします
「コンピューターオブジェクト」
オプション「選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する」

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(O):

- x25X400Link オブジェクト
- x400Link オブジェクト
- グループ オブジェクト
- コンピューター オブジェクト
- サイト オブジェクト
- サイトコンテナ オブジェクト
- サイトリンク オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(C)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

15. 「アクセス許可」画面では「全般」を選択します
「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
「読み取り」

オブジェクト制御の委任ウィザード

アクセス許可
委任するアクセス許可を選択してください。

これらのアクセス許可を表示します:

全般(G)

プロパティ固有(B)

特定の子オブジェクトの作成または削除(C)

アクセス許可(E):

- フルコントロール
- 読み取り
- 書き込み
- すべての子オブジェクトの作成
- すべての子オブジェクトの削除
- すべてのプロパティの読み取り
- オブジェクトのプロパティの書き込み

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

16. 「完了」をクリックします
17. ステップ1～4を繰り返して再度「委任するタスク」画面に進みます
18. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします
19. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。以下を有効化し、「次へ」をクリックします
「msDS-PasswordSettingsオブジェクト」
「msDS-PasswordSettingsContainerオブジェクト」

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(O):

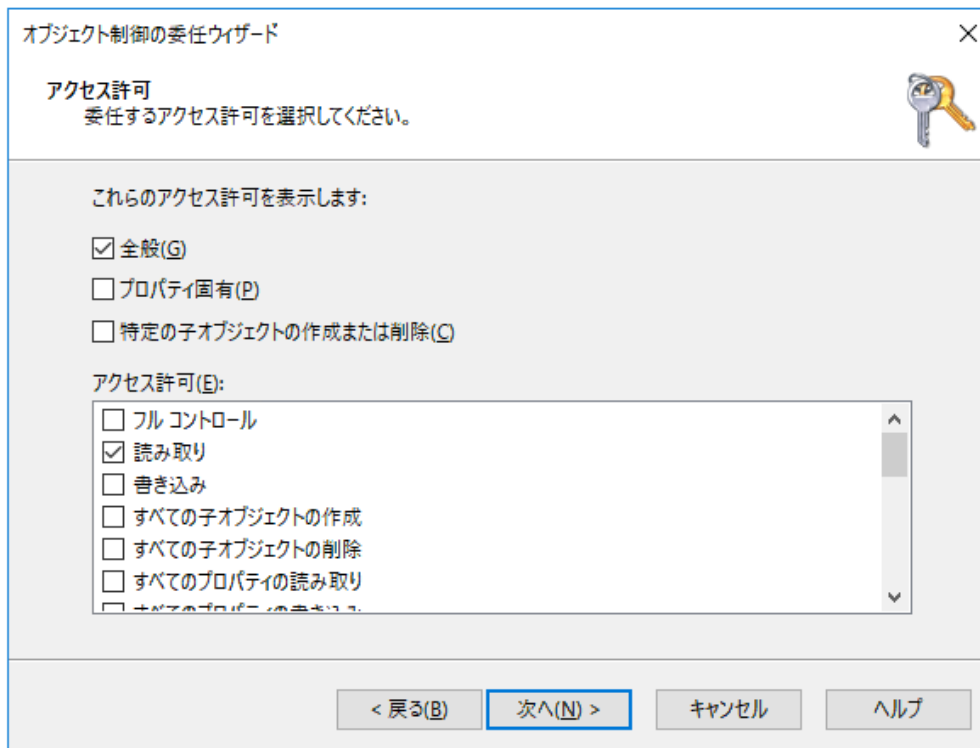
- msDS-OptionalFeature オブジェクト
- msDS-PasswordSettings オブジェクト
- msDS-PasswordSettingsContainer オブジェクト
- msDS-QuotaContainer オブジェクト
- msDS-QuotaControl オブジェクト
- msDS-ResourceProperties オブジェクト
- msDS-ResourceProperty オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(O)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

20. 「アクセス許可」画面では「全般」を選択します
「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
「読み取り」

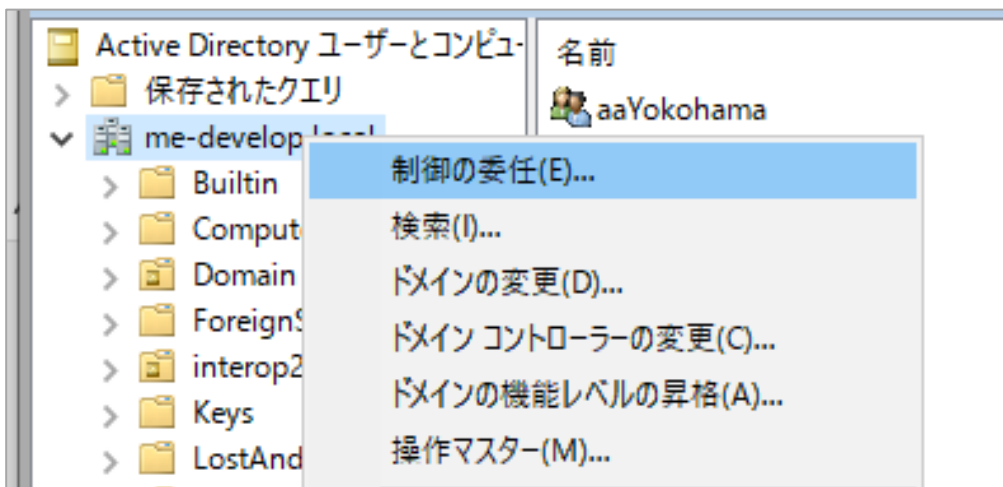


21. 「完了」をクリックします

パスワードリセットのセルフサービスを利用するには

ADSelfService Plusのパスワードリセットのセルフサービスを利用するには、ADUCコンソールでユーザーのパスワードをリセットする権限を委任します。以下の手順に従い実行します：

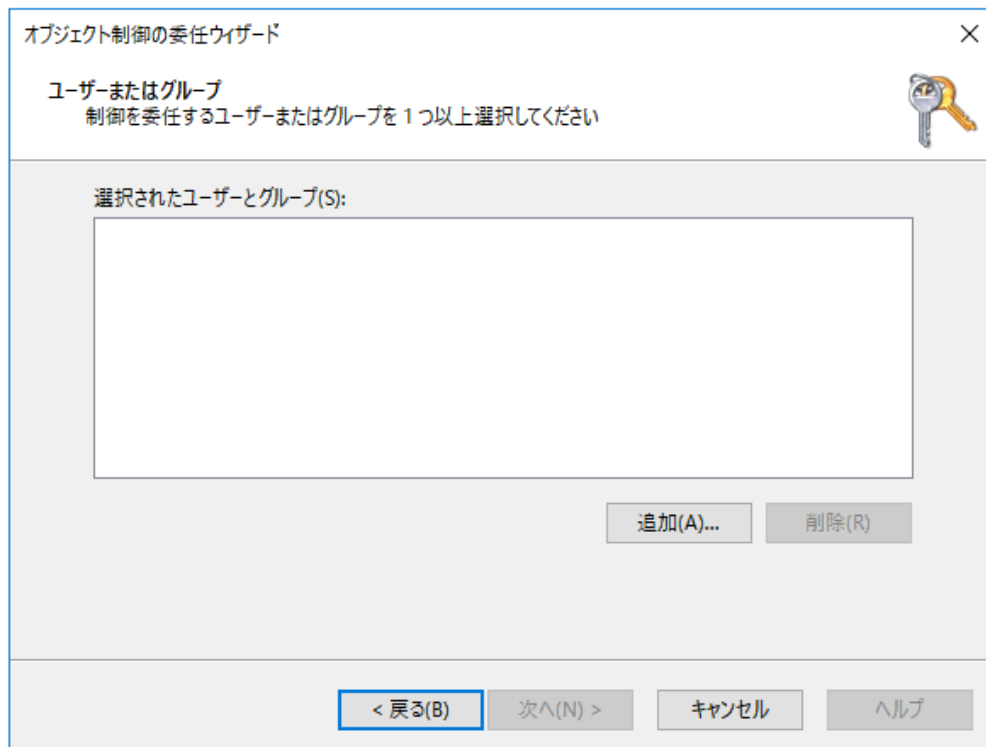
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



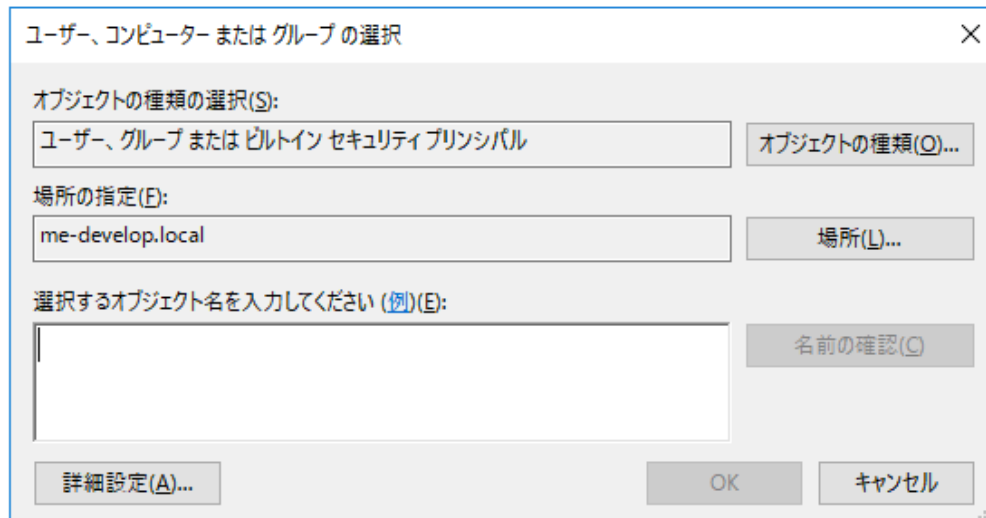
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



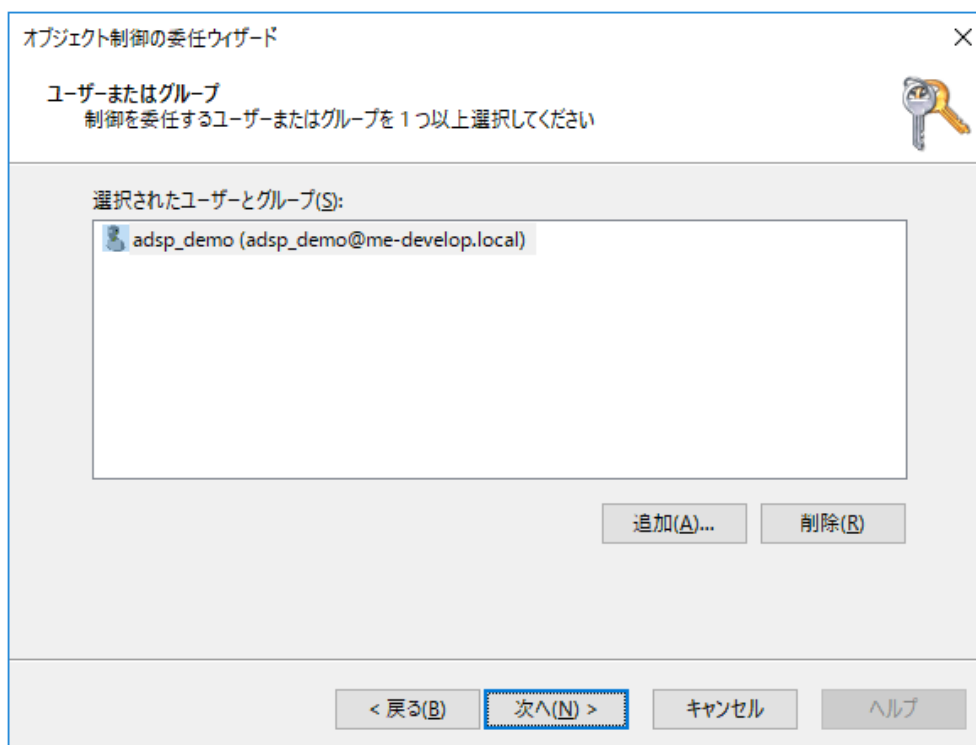
3. 「追加」をクリックします



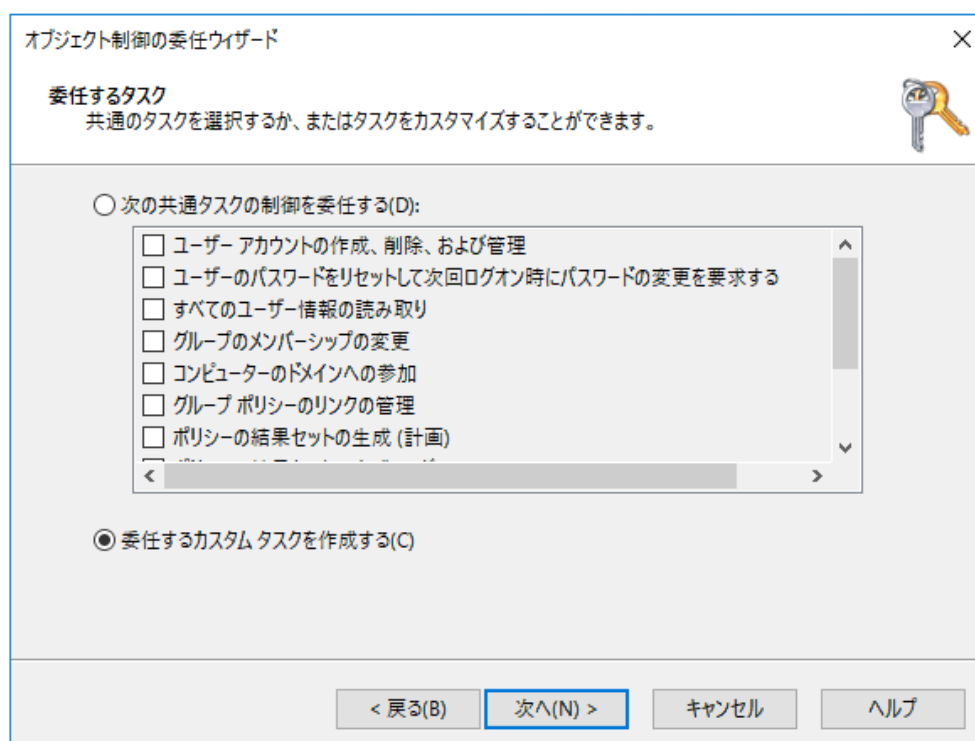
4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



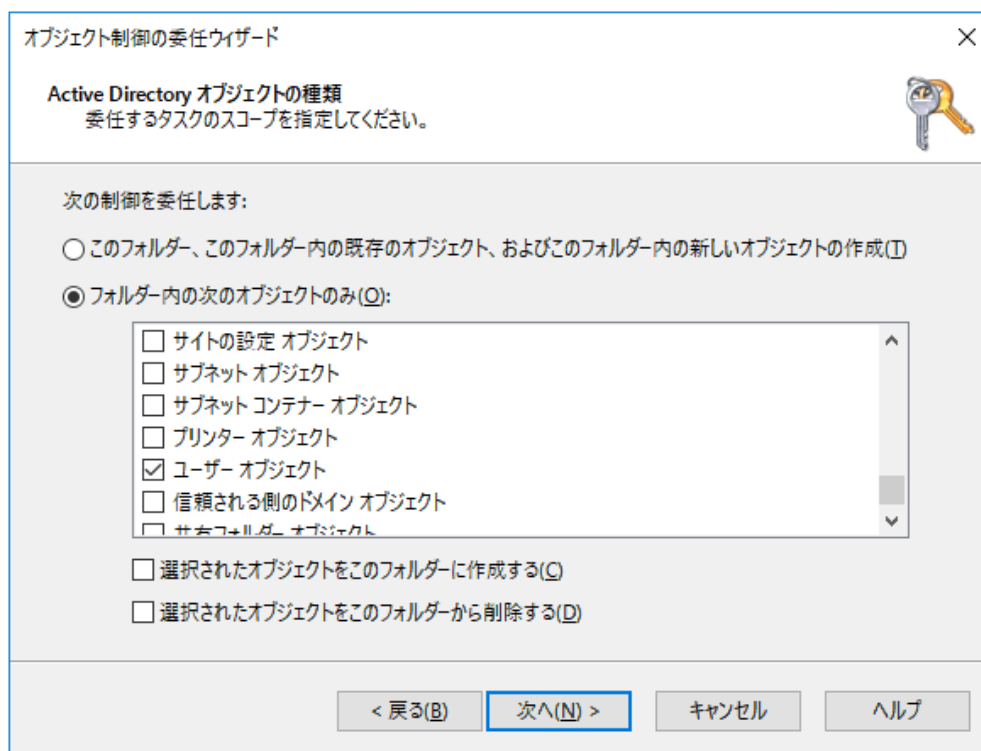
5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします



6. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします

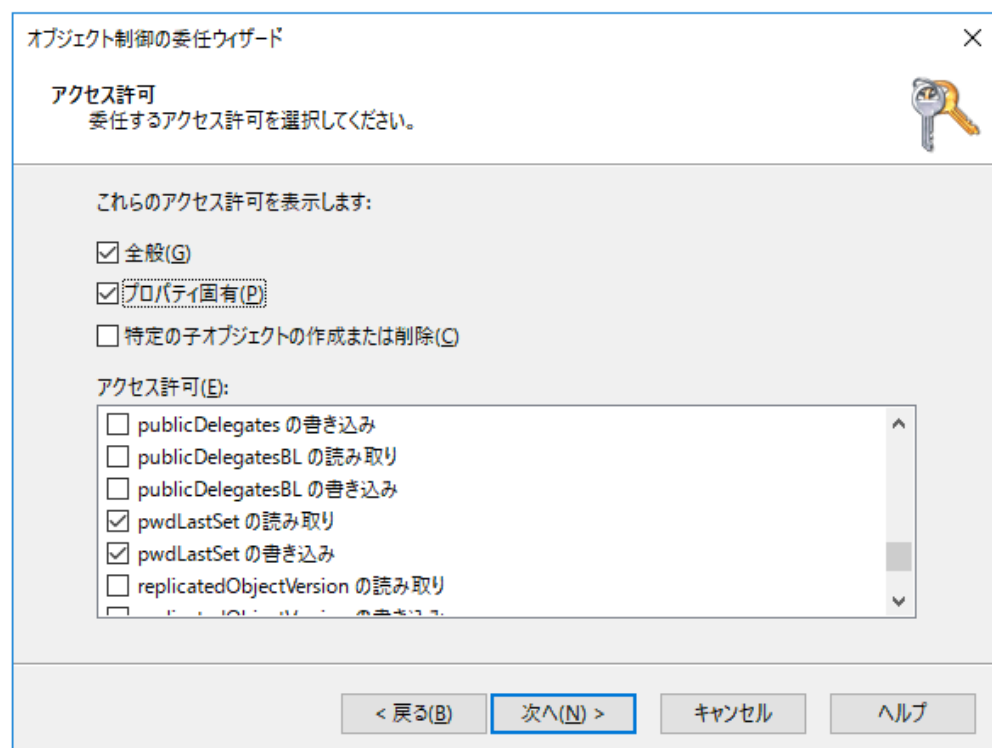
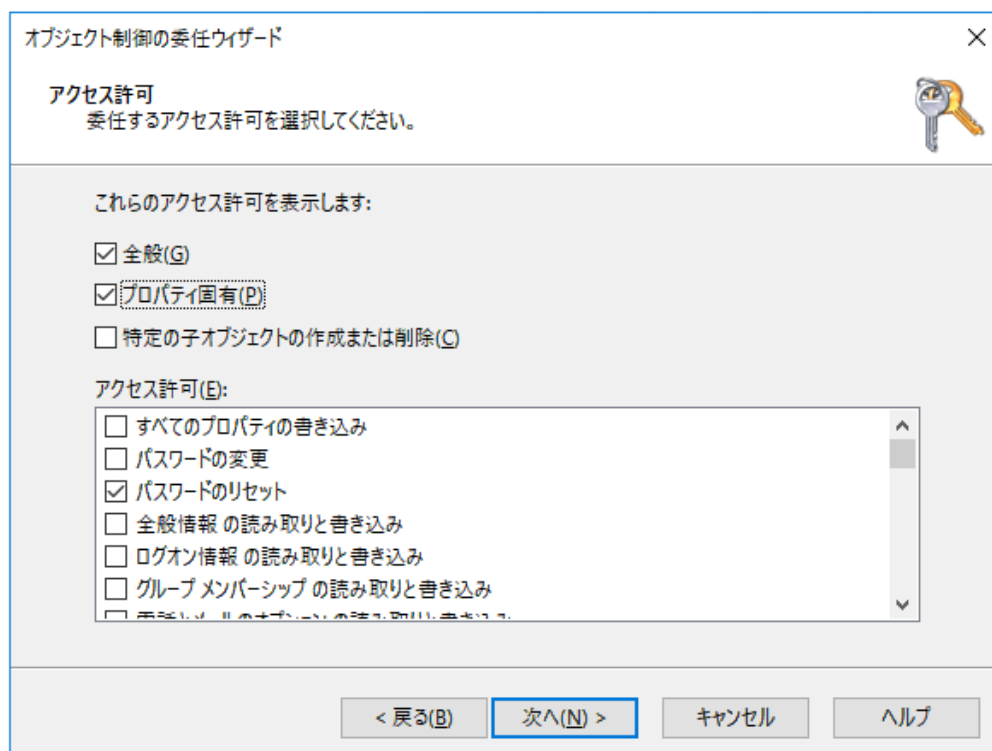


7. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。一覧から「ユーザーオブジェクト」を選択し、



「次へ」をクリックします

8. 「アクセス許可」画面では「全般」と「プロパティ固有」を選択します
 「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
 「パスワードのリセット」
 「pwdLastSet の読み取り」
 「pwdLastSet の書き込み」



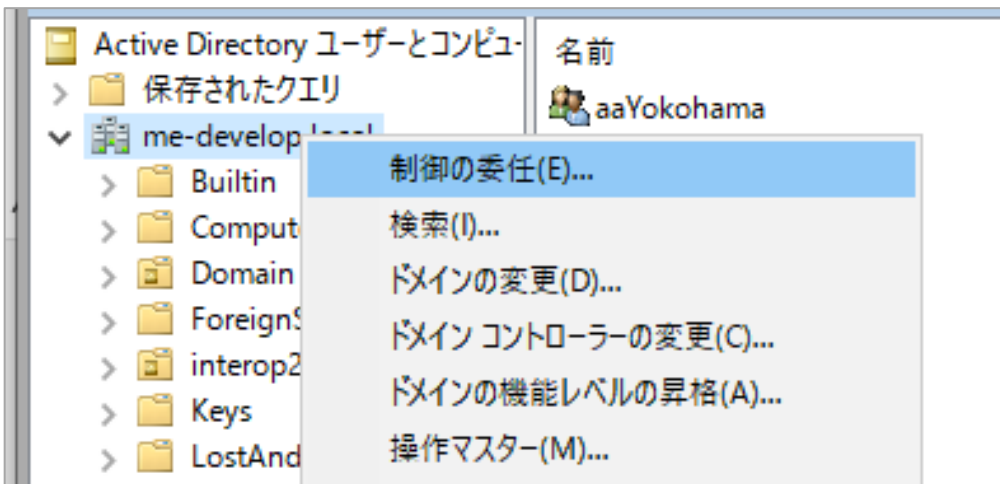
9. 「完了」をクリックします。

注意: このアクセス許可は、パスワードのリセットのみを有効にします。

アカウントロック解除のセルフサービスを利用するには

ADSelfService Plusのアカウントロック解除のセルフサービスを利用するには、ADUCコンソールでユーザーのアカウントロックを解除する権限を委任します。以下の手順に従い実行します：

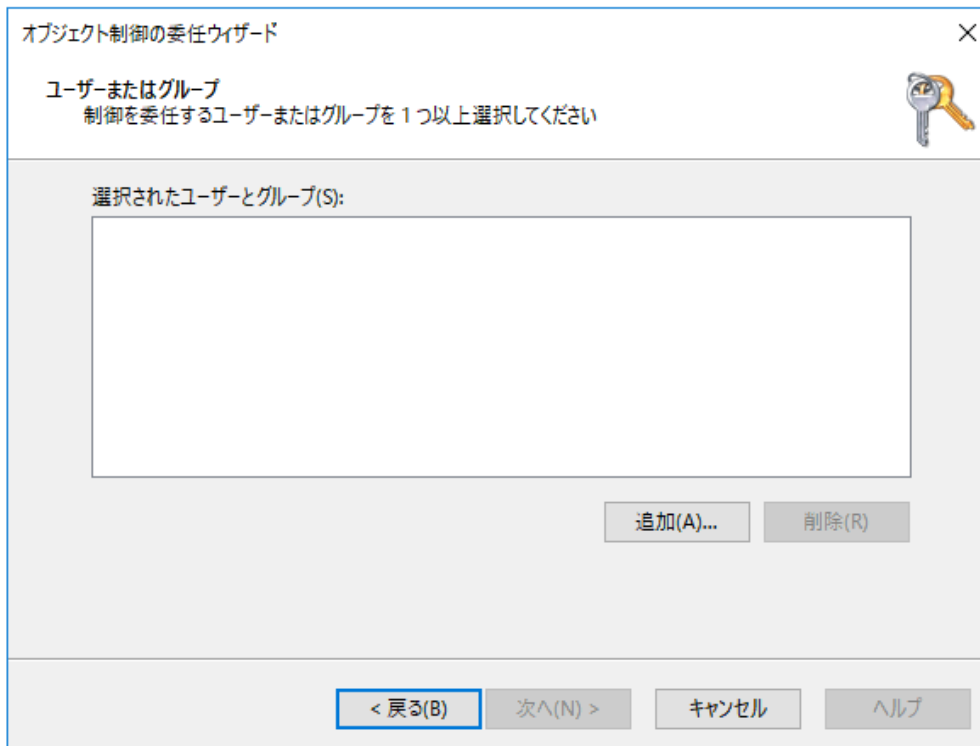
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



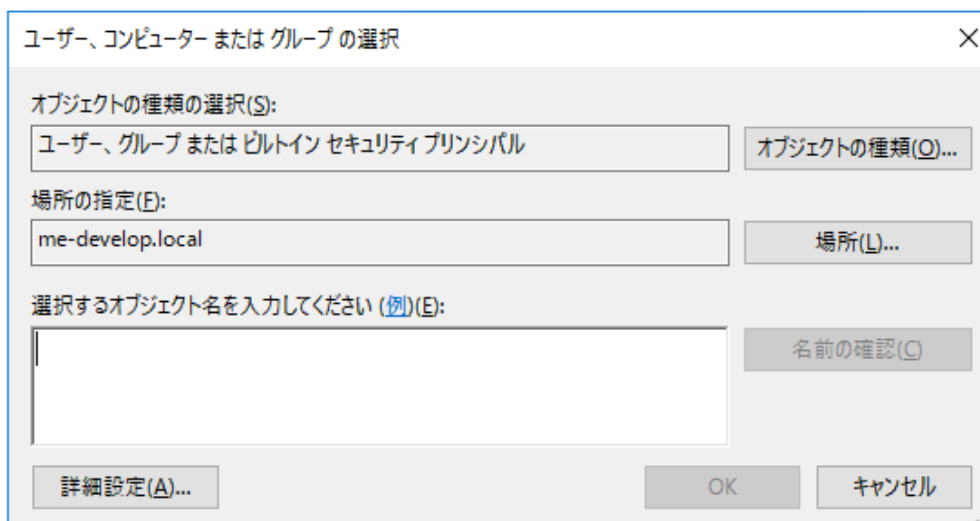
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



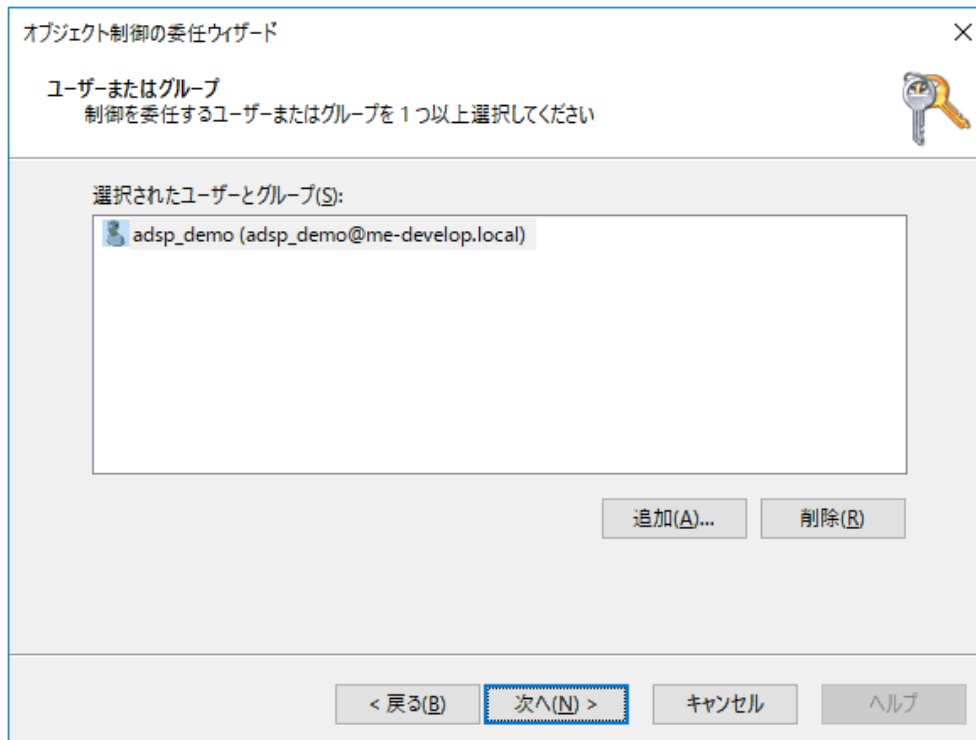
3. 「追加」をクリックします



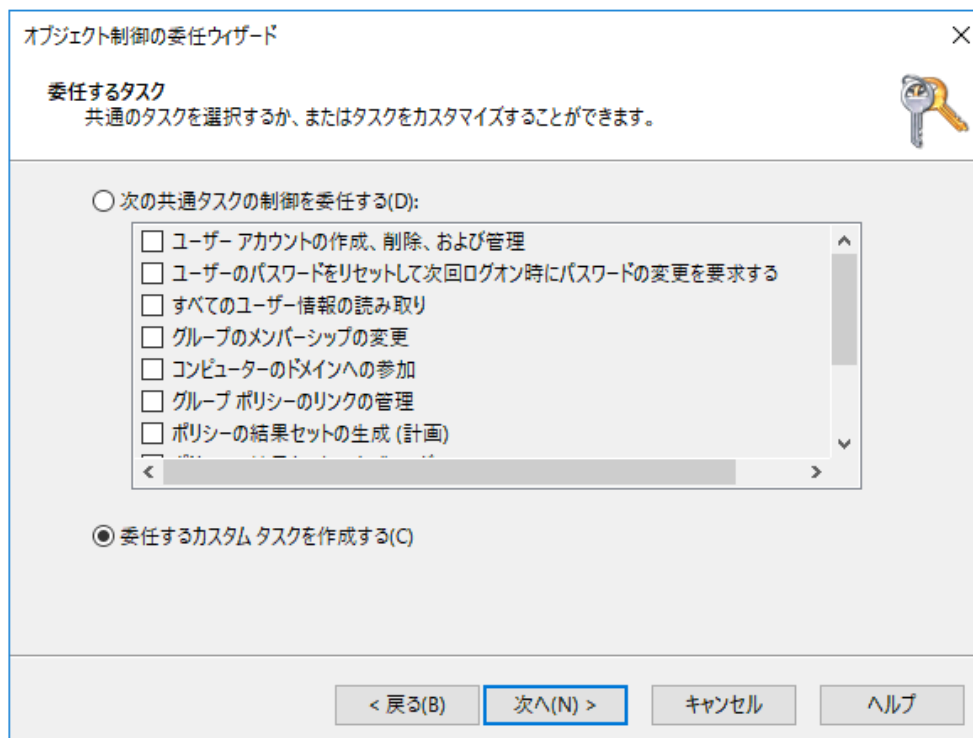
4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします



6. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします



7. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。一覧から「ユーザーオブジェクト」を選択し、「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(O):

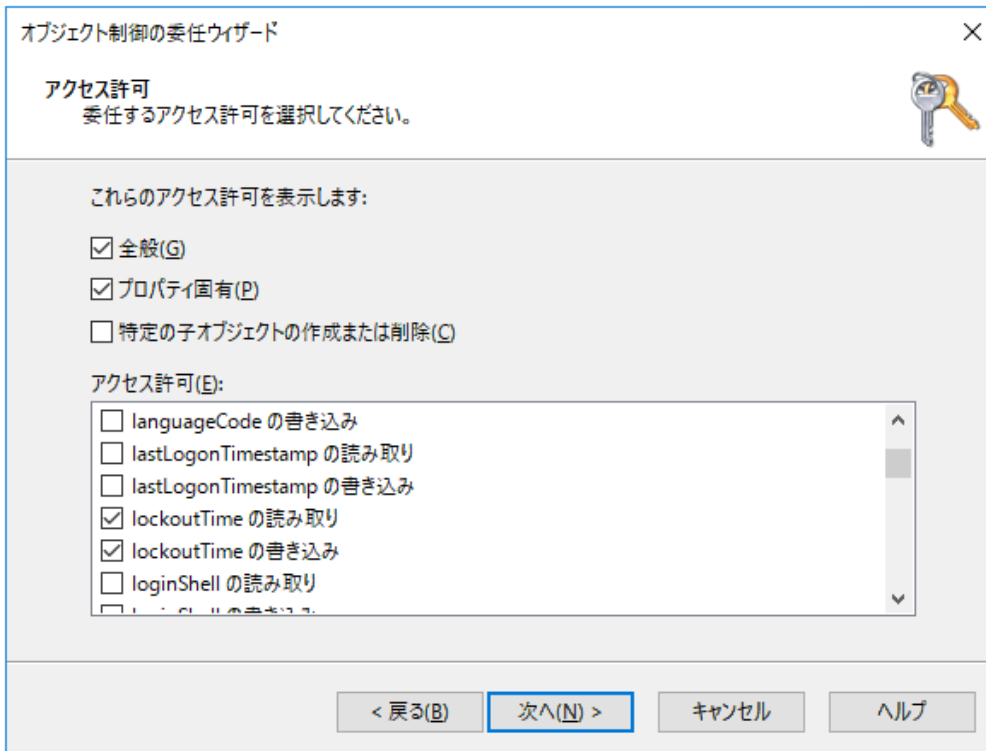
- サイトの設定 オブジェクト
- サブネット オブジェクト
- サブネット コンテナ オブジェクト
- プリンター オブジェクト
- ユーザー オブジェクト
- 信頼される側のドメイン オブジェクト
- 共有フォルダー オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(C)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

8. 「アクセス許可」画面では「全般」と「プロパティ固有」を選択します
「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
「パスワードのリセット」
「lockoutTime の読み取り」
「lockoutTime の書き込み」



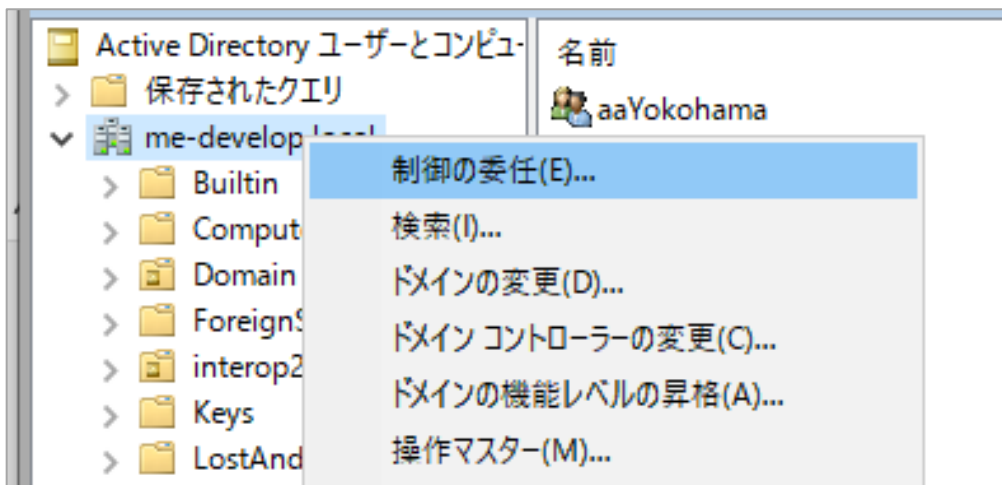
9. 「完了」をクリックします

注意: このアクセス許可は、アカウントのアンロックのみを有効にします。

LDAP属性を変更するセルフサービスを利用するには

ADSelfService Plusのアカウントロック解除のセルフサービスを利用するには、ADUCコンソールでユーザーのLDAP属性を変更する権限を委任します。以下の手順に従い実行します：

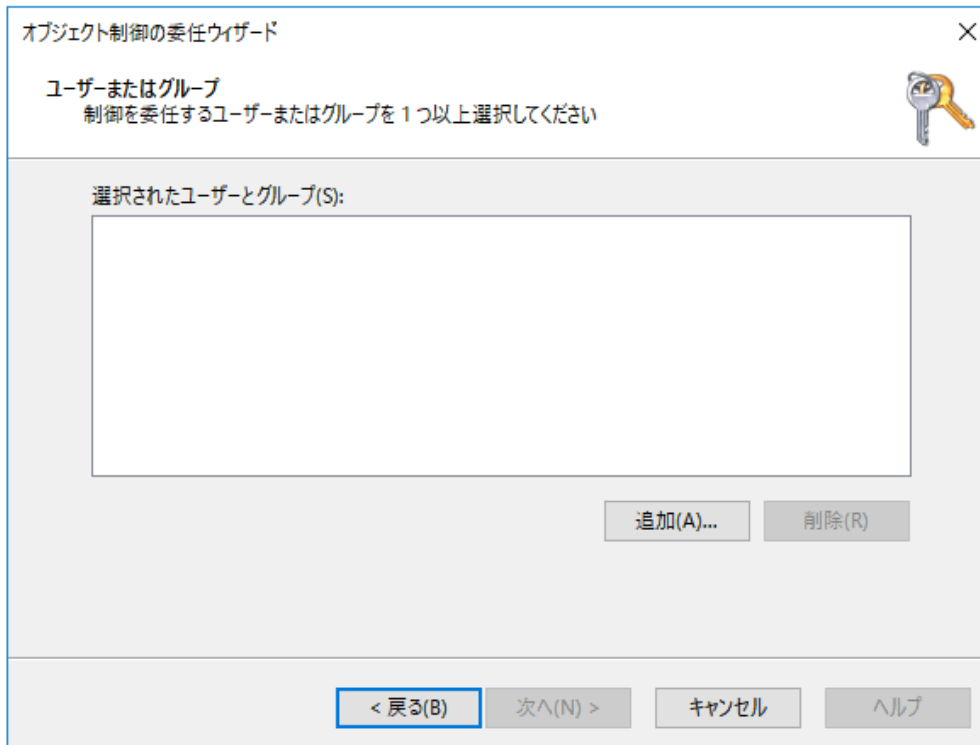
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



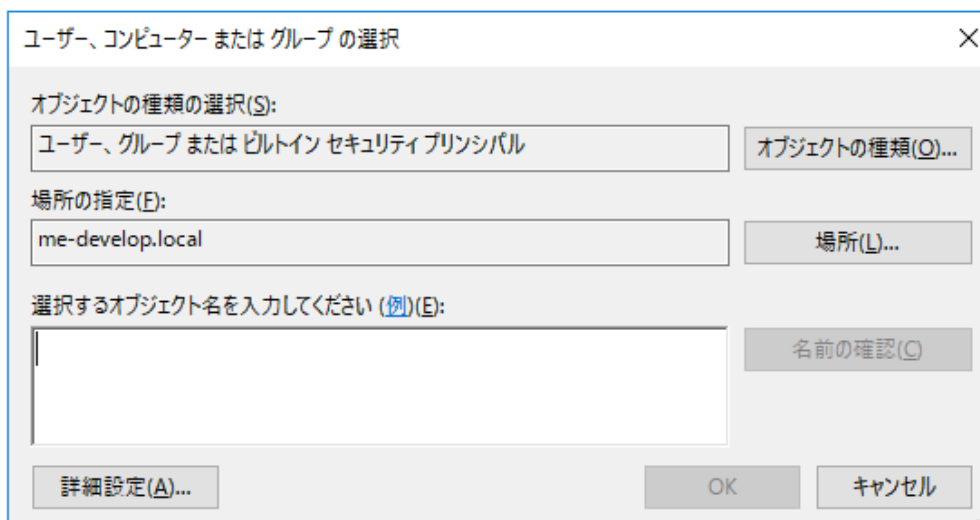
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



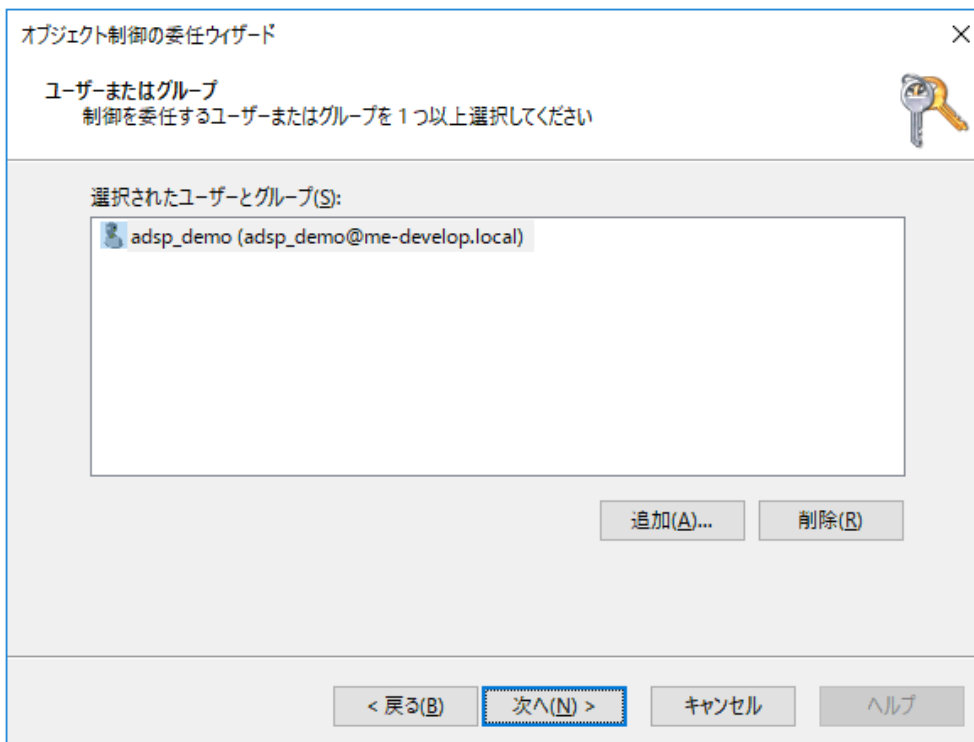
3. 「追加」をクリックします



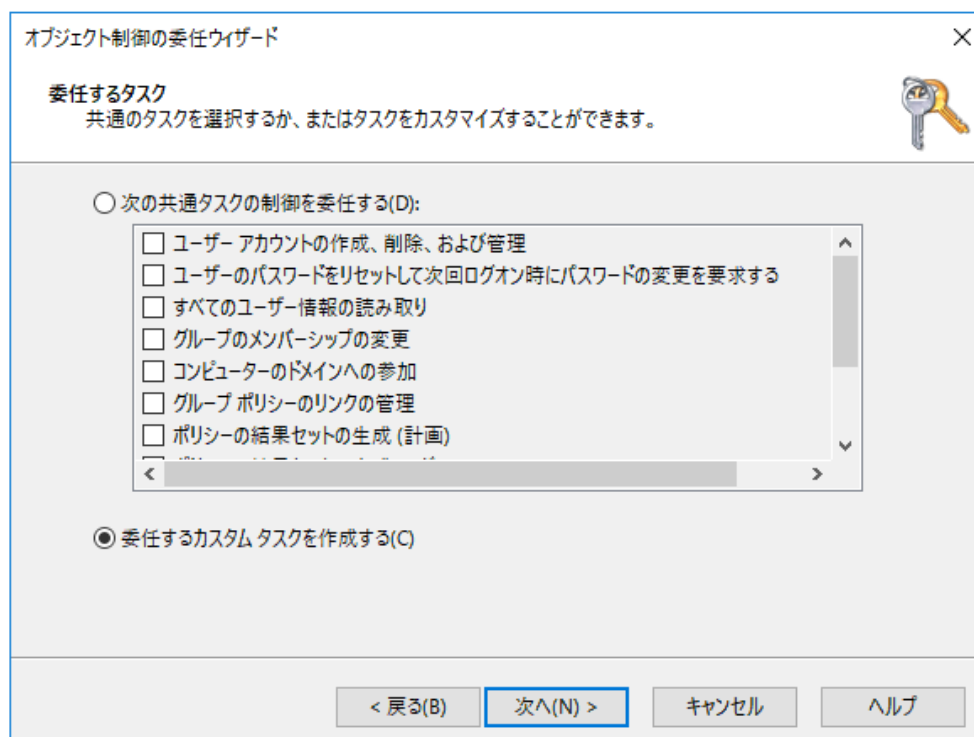
4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします



6. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします



7. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。一覧から「ユーザーオブジェクト」を選択し、「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(O):

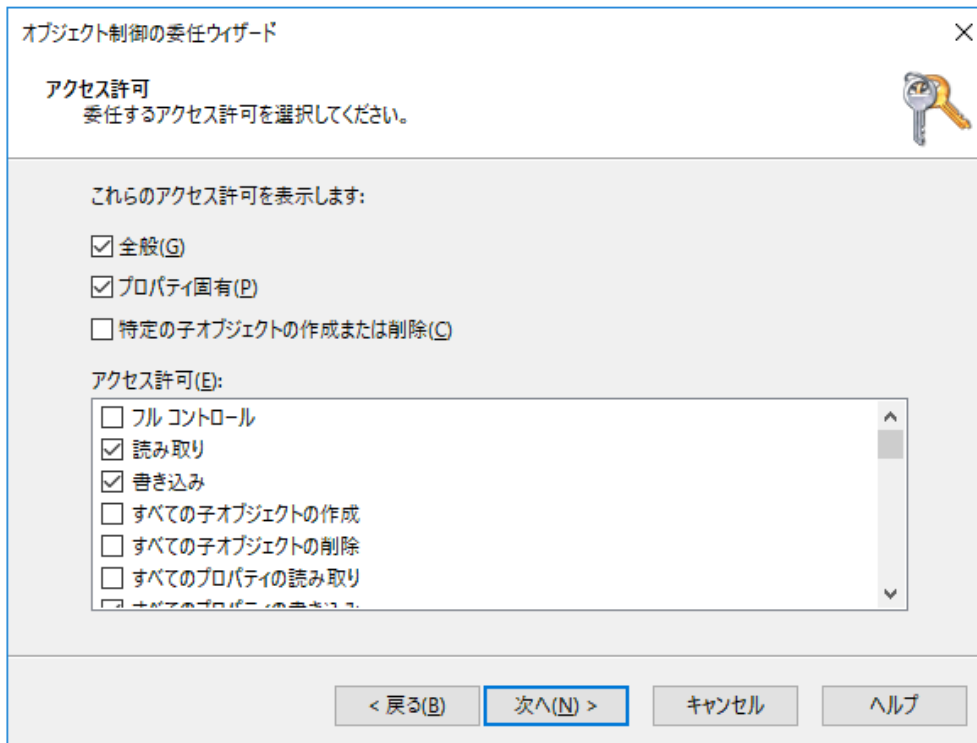
- サイトの設定 オブジェクト
- サブネット オブジェクト
- サブネット コンテナ オブジェクト
- プリンター オブジェクト
- ユーザー オブジェクト
- 信頼される側のドメイン オブジェクト
- 共有フォルダー オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(C)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

8. 「アクセス許可」画面では「全般」と「プロパティ固有」を選択します
「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
「読み取り」
「書き込み」



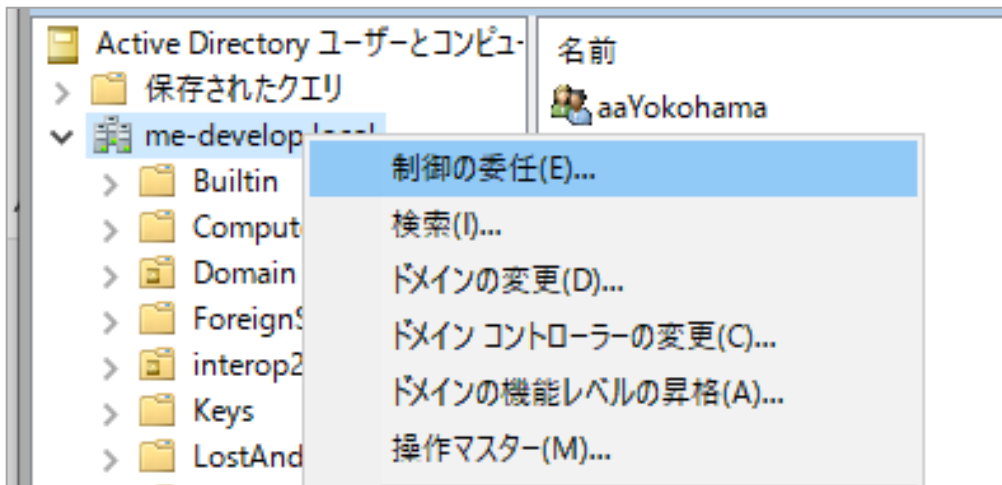
9. 「完了」をクリックします

注意: このアクセス許可は、ユーザーのLDAP属性更新のみを有効にします。

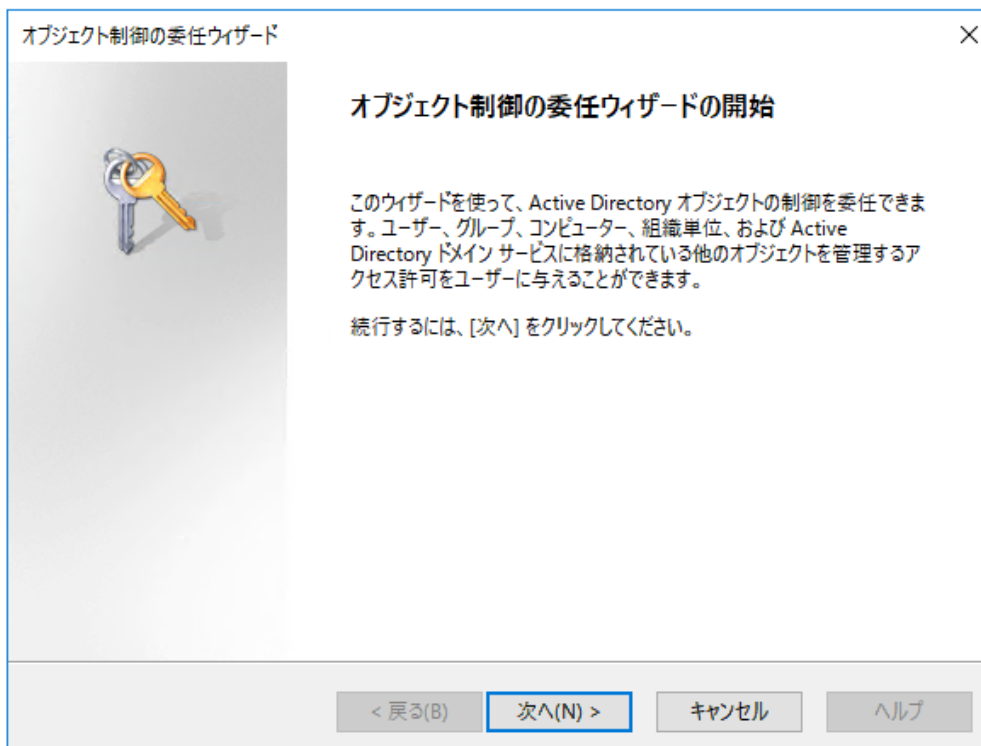
きめ細かいパスワードポリシー(PSO)を表示するには

きめ細かなパスワードポリシー(PSO)を有効にしているユーザーのパスワードリセット/変更画面で正確なパスワードポリシーの要件を表示するには、ADUCのユーザーのパスワード設定目標(PSO)を読み取るためのアクセス許可を委任する必要があります。これを行うには次の手順を実行します：

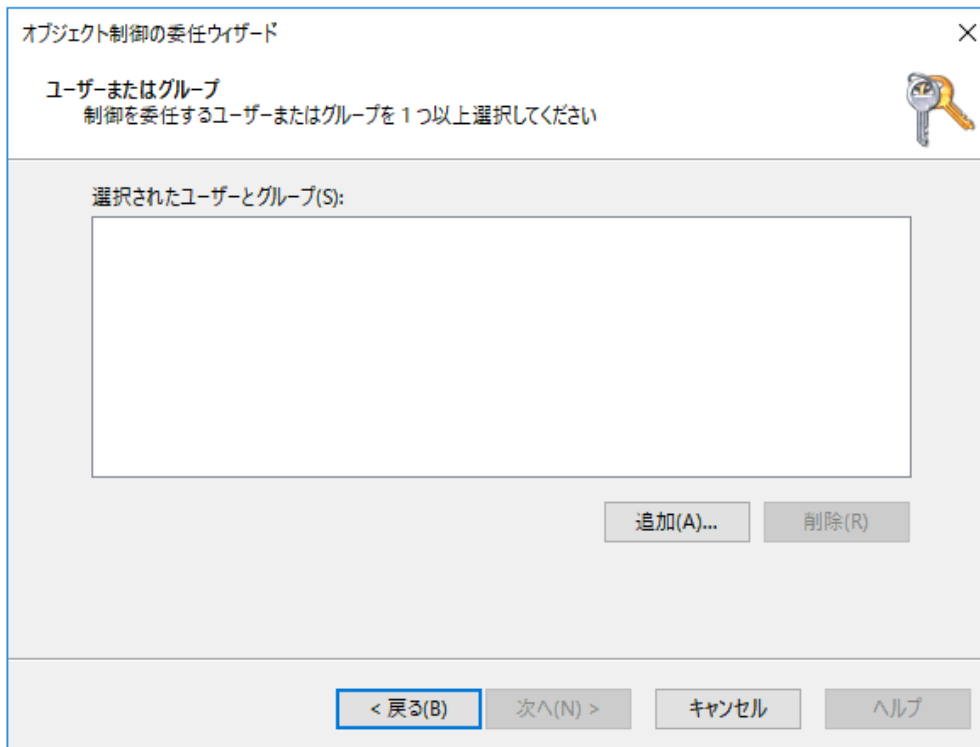
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



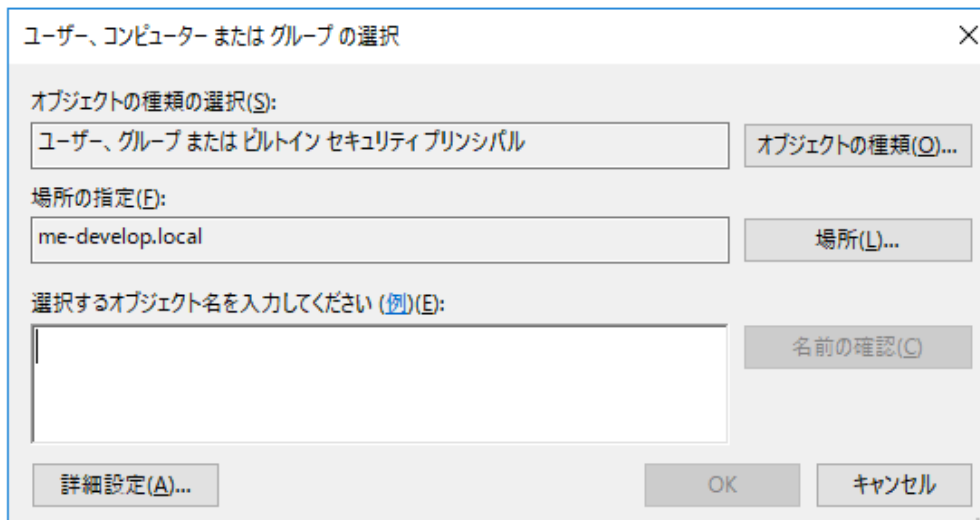
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



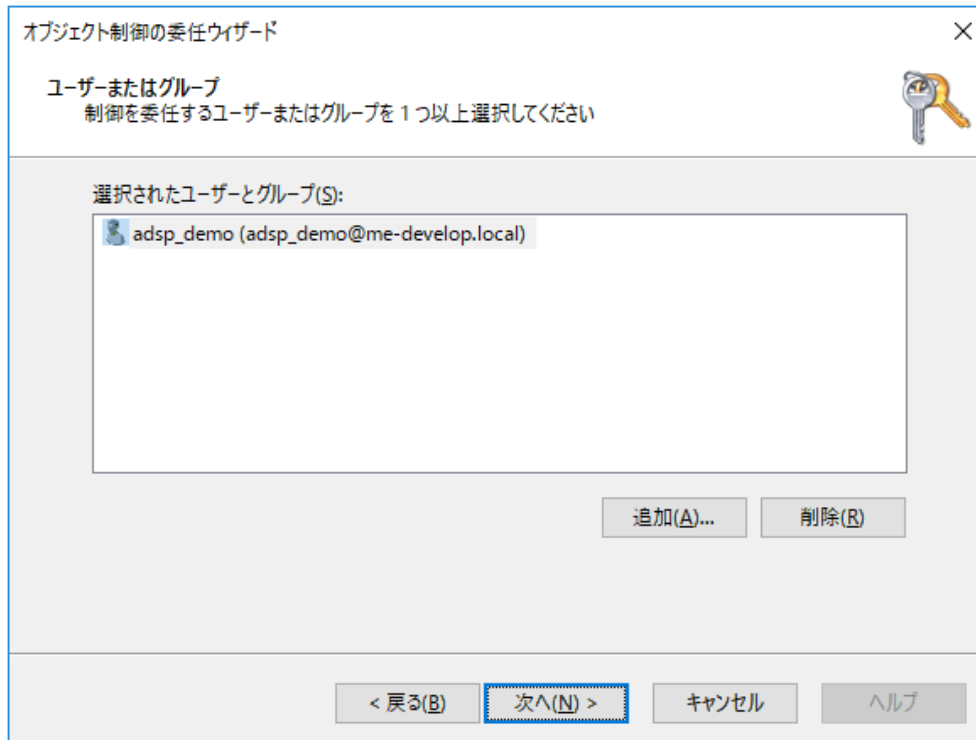
3. 「追加」をクリックします



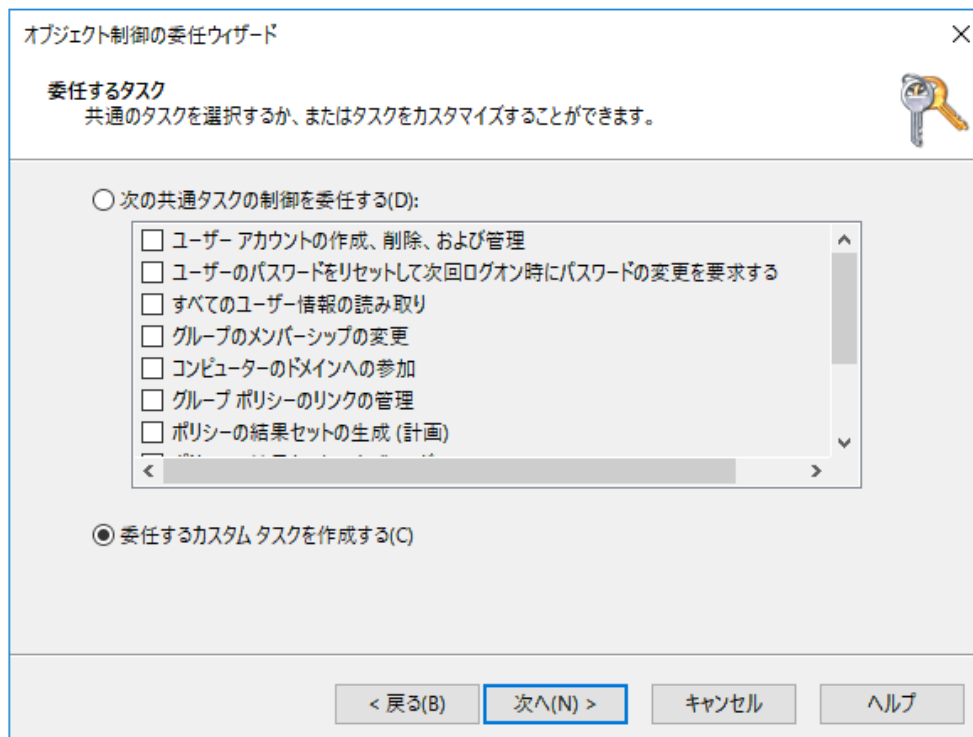
4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします



6. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします



7. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。以下を有効化し、「次へ」をクリックします
「msDS-PasswordSettingsオブジェクト」
「msDS-PasswordSettingsContainerオブジェクト」

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(D)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(Q):

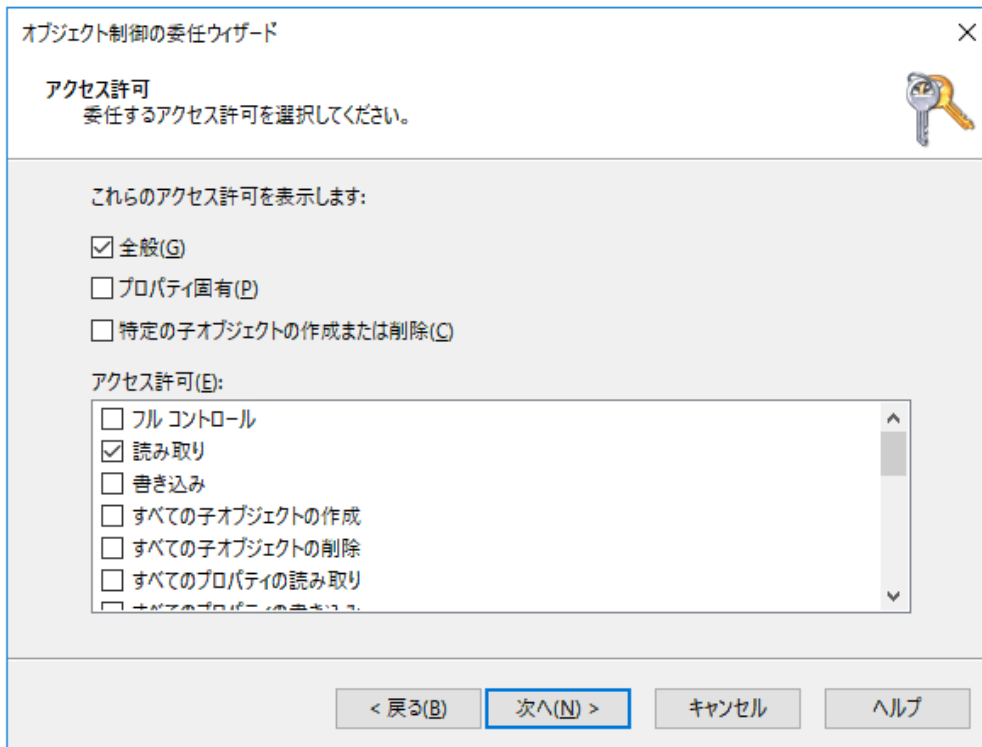
- msDS-OptionalFeature オブジェクト
- msDS-PasswordSettings オブジェクト
- msDS-PasswordSettingsContainer オブジェクト
- msDS-QuotaContainer オブジェクト
- msDS-QuotaControl オブジェクト
- msDS-ResourceProperties オブジェクト
- msDS-ResourceProperties オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(Q)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

7. 「アクセス許可」画面では「全般」を選択します
「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
「読み取り」



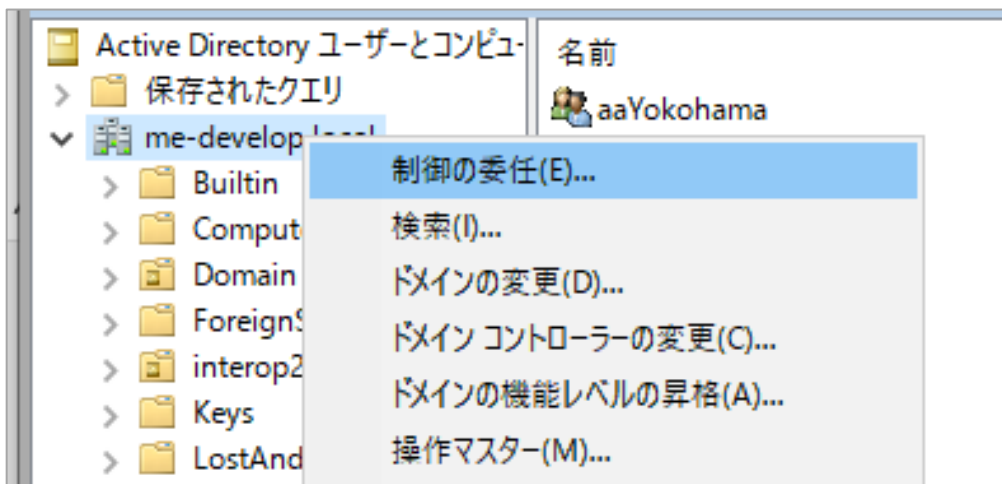
8. 「完了」をクリックします

注意: このアクセス許可は、きめ細かなパスワードポリシー(PSO)のみを取得します。

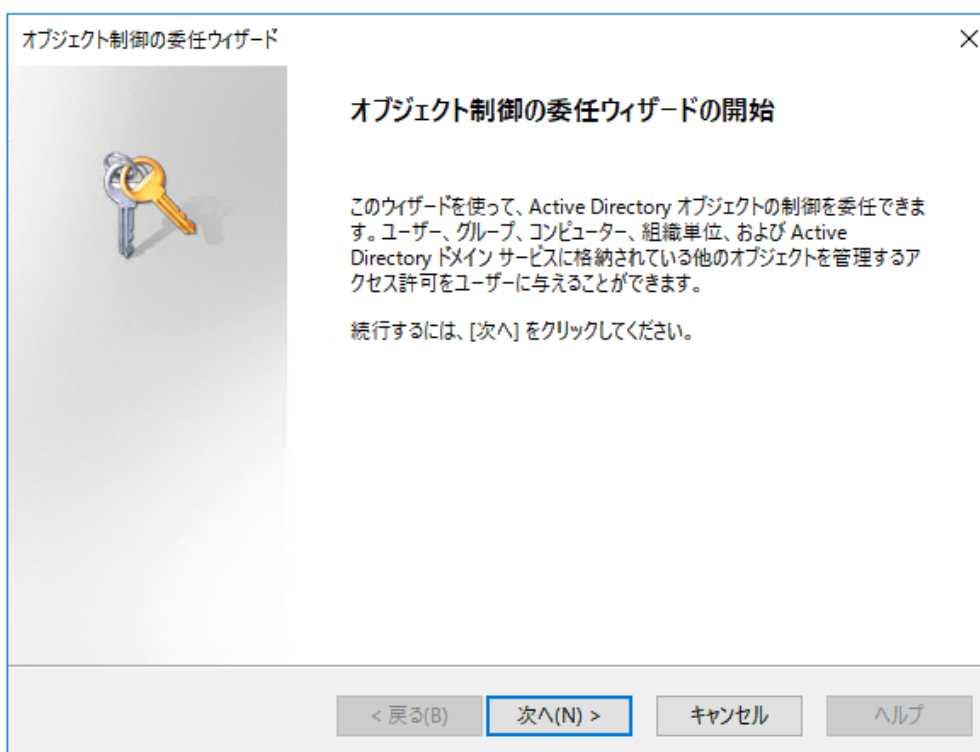
グループメンバー変更のセルフサービスを利用するには

ADSelfService Plusのグループメンバー変更のセルフサービスを利用するには、ADUCコンソールでグループのメンバーの属性を変更する権限を委任する必要があります。次の手順を実行してください：

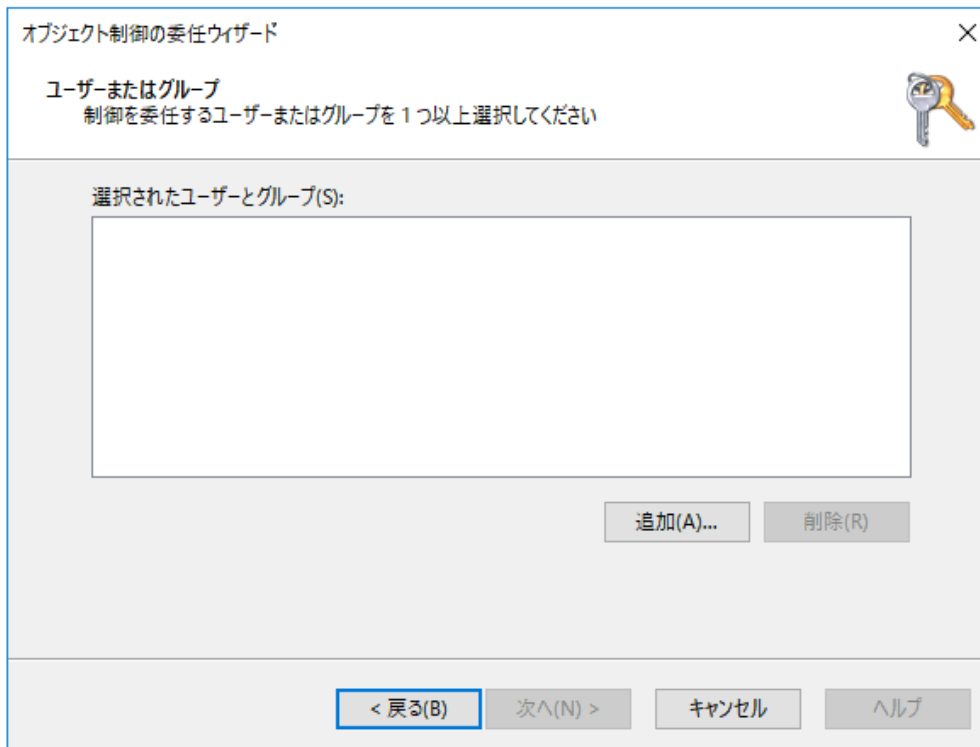
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



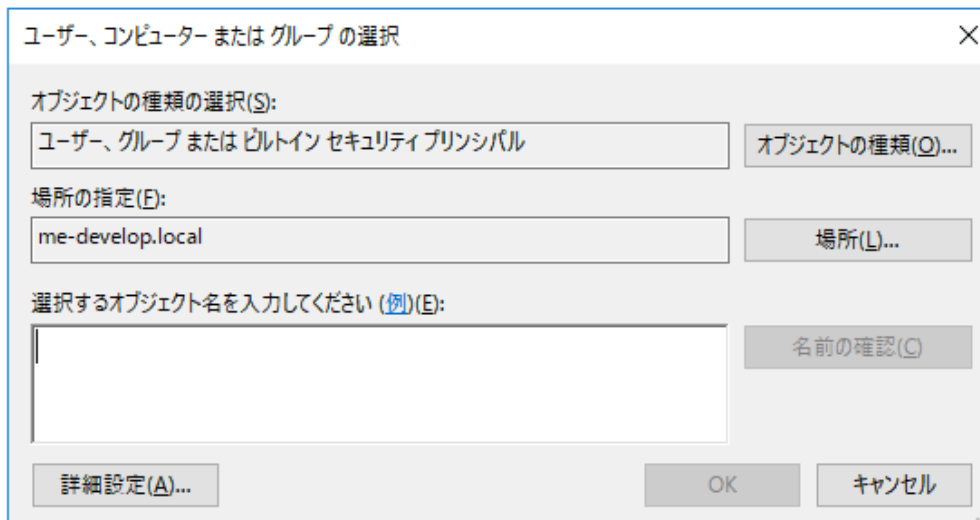
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



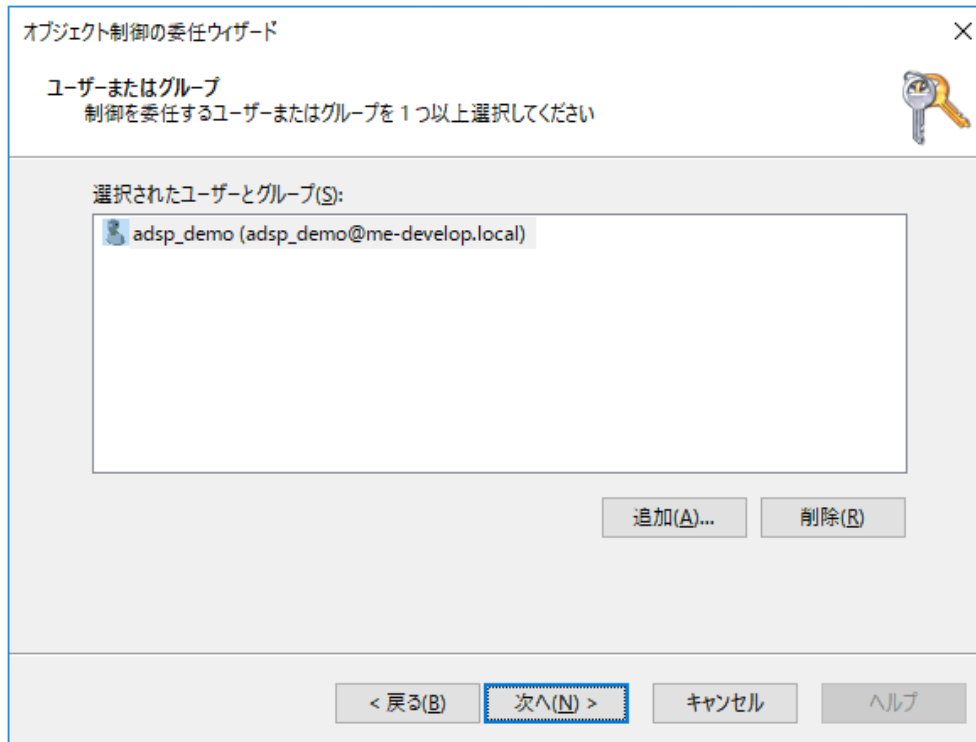
3. 「追加」をクリックします



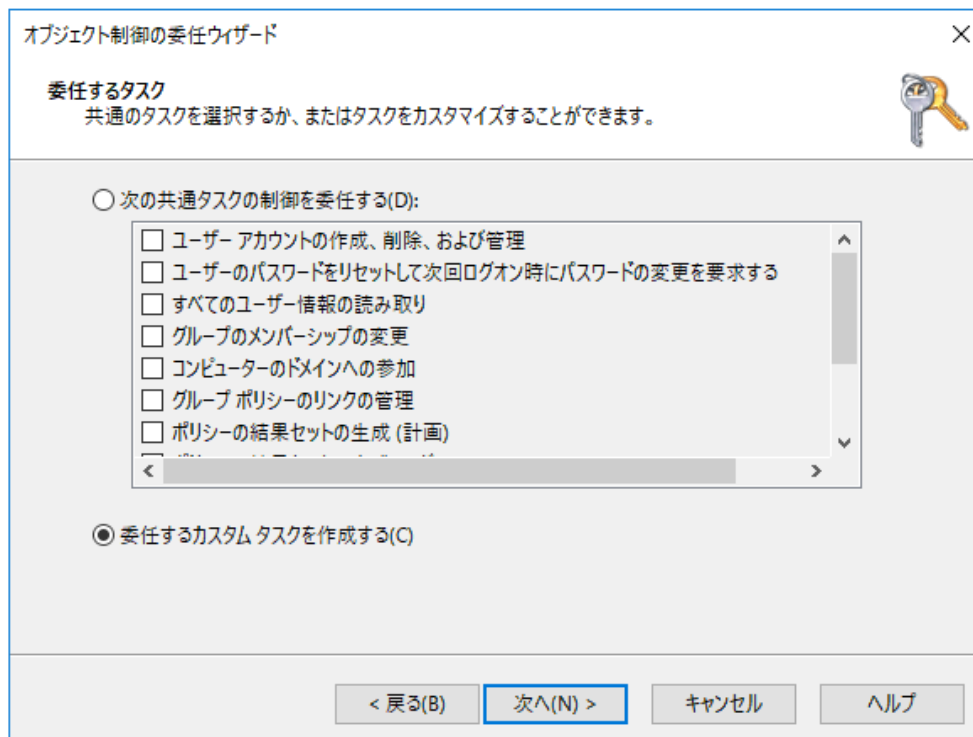
4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします



6. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします



7. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。以下を有効化し、「次へ」をクリックします
「グループオブジェクト」

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(O):

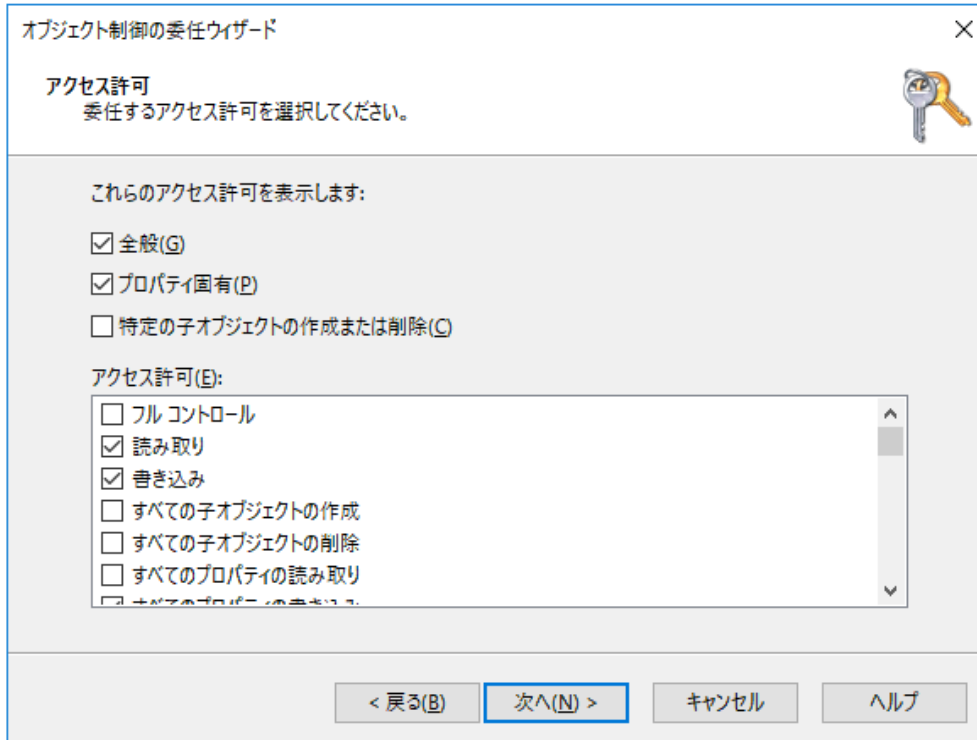
- transportStack オブジェクト
- x25Stack オブジェクト
- x25X400Link オブジェクト
- x400Link オブジェクト
- グループ オブジェクト
- コンピューター オブジェクト
- サイト オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(O)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

8. 「アクセス許可」画面では「全般」と「プロパティ固有」を選択します
 「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
 「読み取り」
 「書き込み」



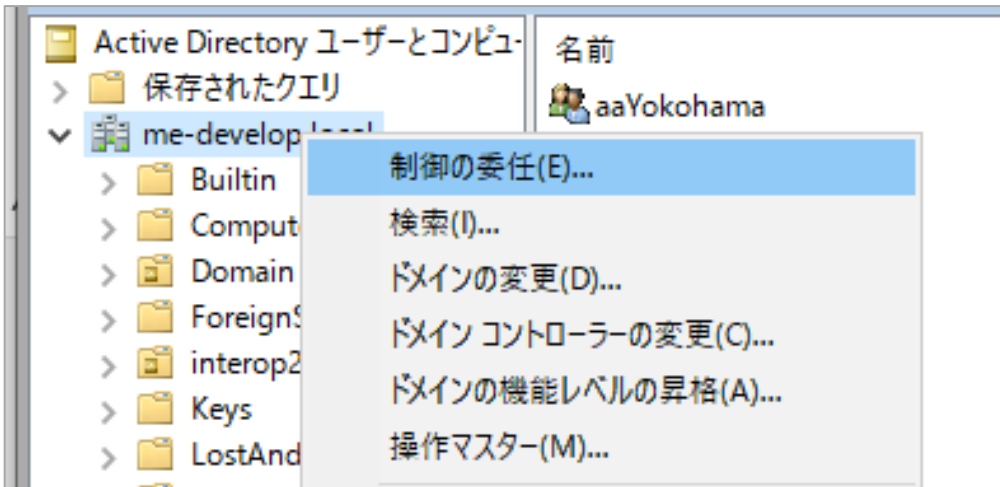
9. 「完了」をクリックします。

注意: このアクセス許可は、グループメンバー変更のセルフサービスのみを有効にします。

NTLM経由のADSelfService Plusへのシングルサインオンを利用するには

ADSelfService PlusでNTLM経由のシングルサインオンを利用するには、ADUCコンソールで「コンピュータアカウントのアクセス権限を作成し、読み取りを委任する」必要があります。これを行うには以下の手順を実行します：

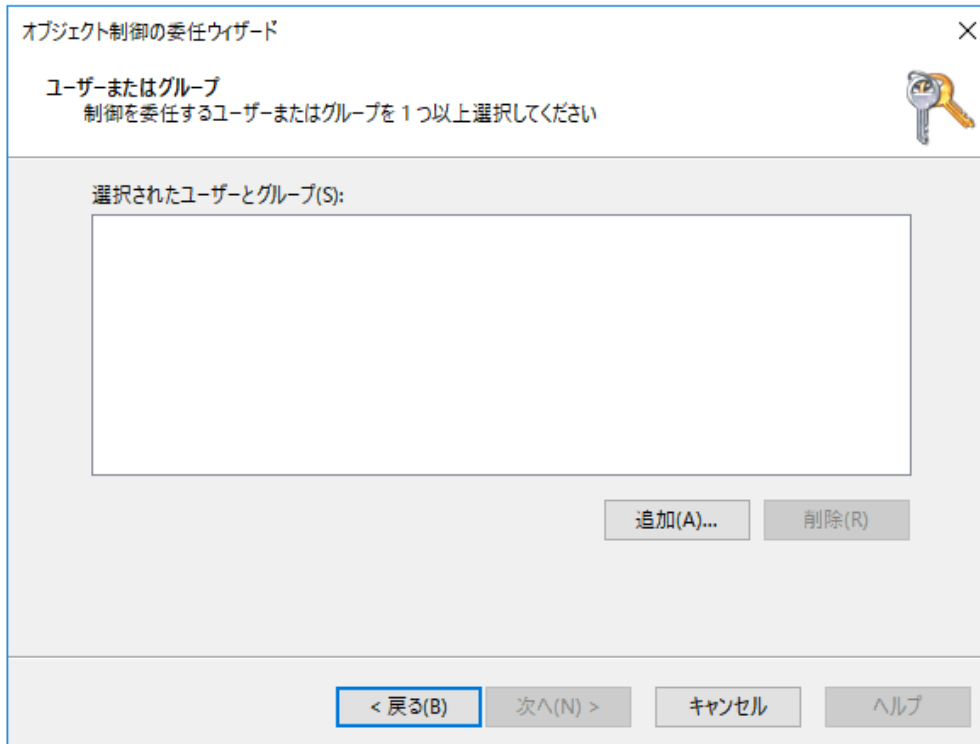
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



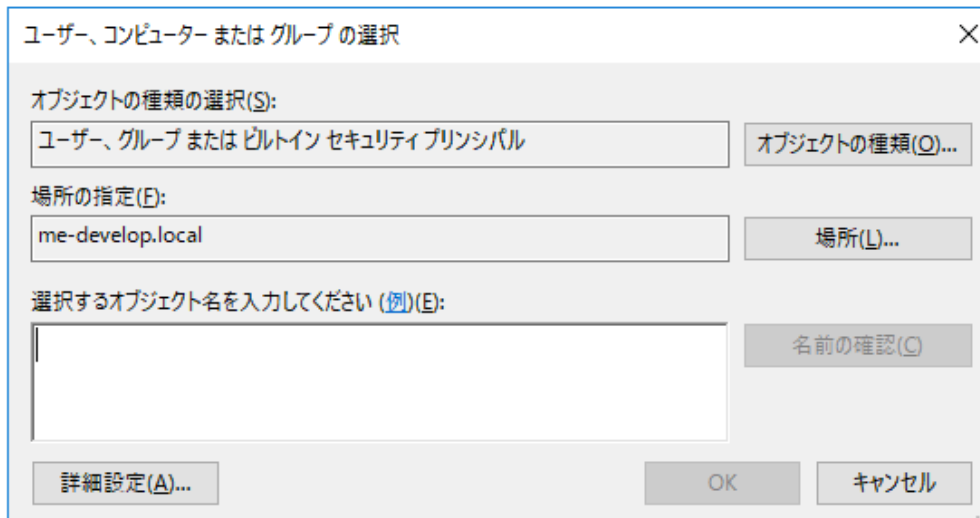
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



3. 「追加」をクリックします



4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

ユーザーまたはグループ
制御を委任するユーザーまたはグループを1つ以上選択してください

選択されたユーザーとグループ(S):

adsp_demo (adsp_demo@me-develop.local)

追加(A)... 削除(R)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

6. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

委任するタスク
共通のタスクを選択するか、またはタスクをカスタマイズすることができます。

次の共通タスクの制御を委任する(D):

- ユーザー アカウントの作成、削除、および管理
- ユーザーのパスワードをリセットして次回ログオン時にパスワードの変更を要求する
- すべてのユーザー情報の読み取り
- グループのメンバーシップの変更
- コンピューターのドメインへの参加
- グループ ポリシーのリンクの管理
- ポリシーの結果セットの生成 (計画)

委任するカスタムタスクを作成する(C)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

7. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。以下を有効化し、「次へ」をクリックします
「コンピューターオブジェクト」
オプション「選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する」

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(Q):

- x25X400Link オブジェクト
- x400Link オブジェクト
- グループ オブジェクト
- コンピューター オブジェクト
- サイト オブジェクト
- サイト コンテナ オブジェクト
- サイト リンク オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(C)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

8. 「アクセス許可」画面では「全般」を選択します
「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
「読み取り」

オブジェクト制御の委任ウィザード

アクセス許可
委任するアクセス許可を選択してください。

これらのアクセス許可を表示します:

全般(G)

プロパティ固有(P)

特定の子オブジェクトの作成または削除(C)

アクセス許可(E):

- フル コントロール
- 読み取り
- 書き込み
- すべての子オブジェクトの作成
- すべての子オブジェクトの削除
- すべてのプロパティの読み取り
- すべてのプロパティの書き込み

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

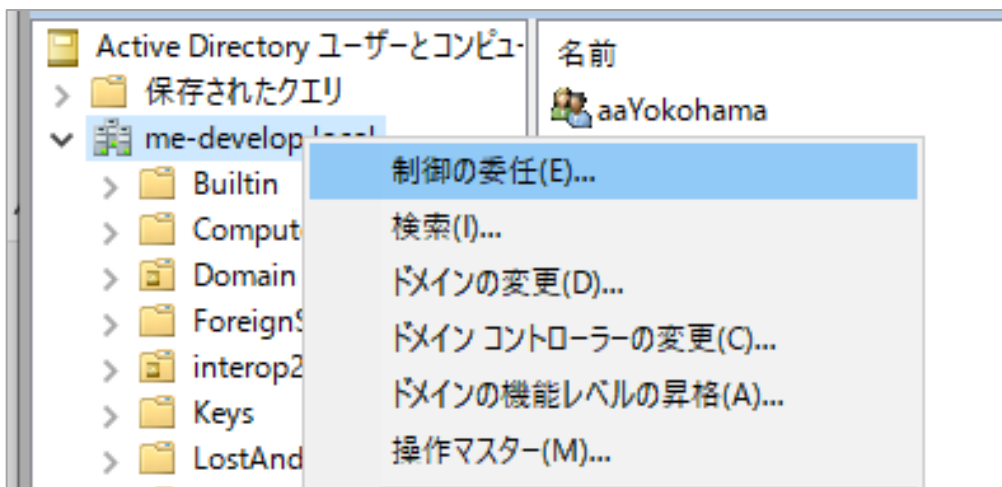
9. 「完了」をクリックします

注意: このアクセス許可は、NT LAN Manager (NTLMv2) を利用してADSelfService PlusへのSSOのみを可能にします。

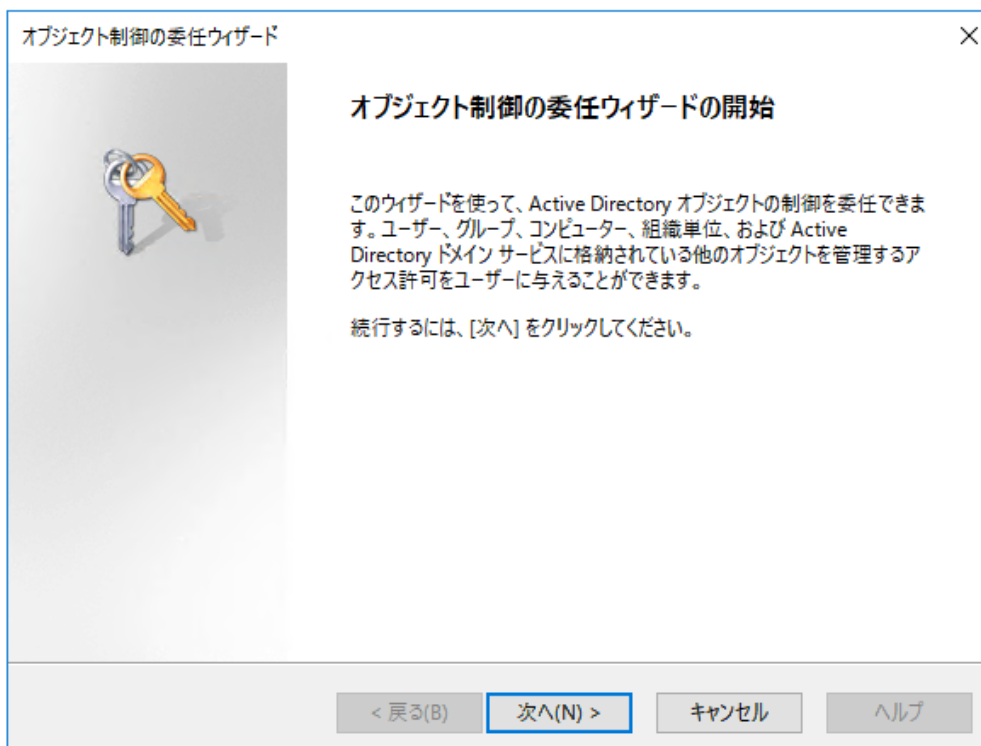
ログオンスクリプトを使用した強制登録を利用するには

ADSelfService Plusでログオンスクリプトを使用した強制登録を利用するには、ADUCコンソールでユーザーの scriptPath を変更する権限を委任する必要があります。これを行うには以下の手順を実行します：

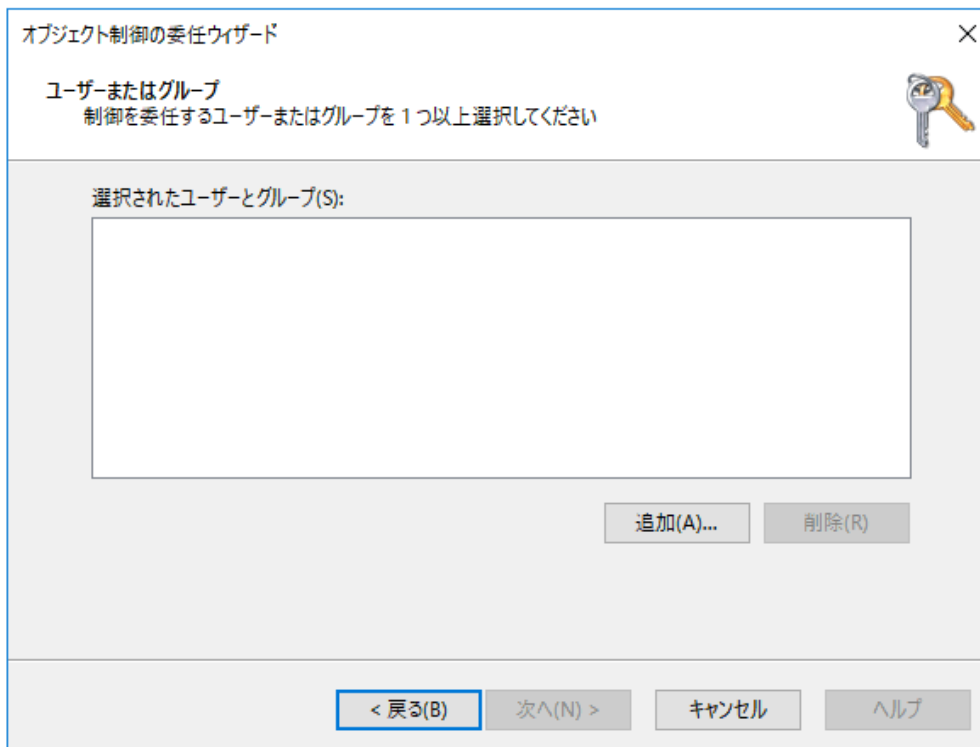
1. ADUCでドメインを右クリックし、メニューから「コントロールを委任」を選択します



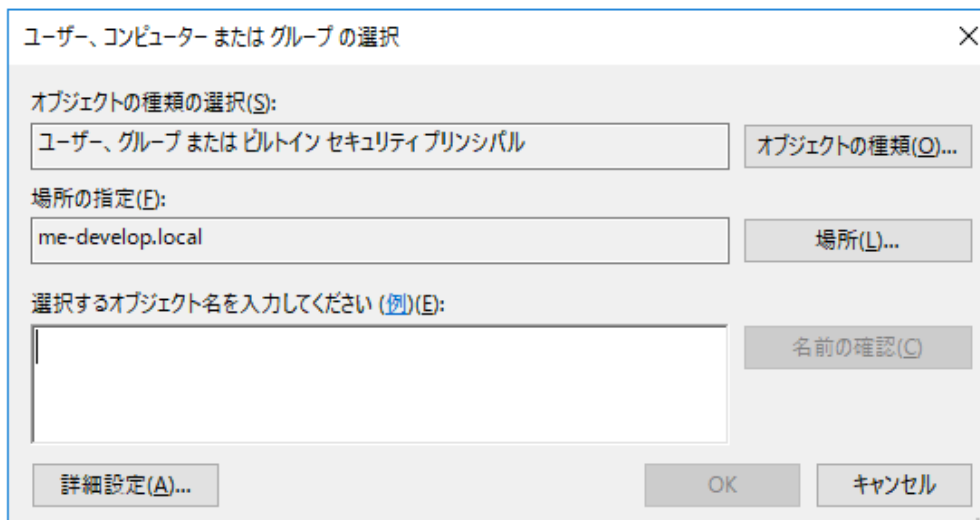
2. 「オブジェクト制御の委任ウィザードの開始」ダイアログボックスで「次へ」をクリックします



3. 「追加」をクリックします



4. ユーザーアカウントまたはサービスアカウントを選択し、「OK」をクリックして追加します



5. 「ユーザーまたはグループ」画面で「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

ユーザーまたはグループ
制御を委任するユーザーまたはグループを1つ以上選択してください

選択されたユーザーとグループ(S):

adsp_demo (adsp_demo@me-develop.local)

追加(A)... 削除(R)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

6. 「委任するカスタムタスクを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

委任するタスク
共通のタスクを選択するか、またはタスクをカスタマイズすることができます。

次の共通タスクの制御を委任する(D):

- ユーザー アカウントの作成、削除、および管理
- ユーザーのパスワードをリセットして次回ログオン時にパスワードの変更を要求する
- すべてのユーザー情報の読み取り
- グループのメンバーシップの変更
- コンピューターのドメインへの参加
- グループ ポリシーのリンクの管理
- ポリシーの結果セットの生成 (計画)

委任するカスタムタスクを作成する(C)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

7. 「フォルダー内の次のオブジェクトのみ」を選択します。一覧から「ユーザーオブジェクト」を選択し、「次へ」をクリックします

オブジェクト制御の委任ウィザード

Active Directory オブジェクトの種類
委任するタスクの範囲を指定してください。

次の制御を委任します:

このフォルダー、このフォルダー内の既存のオブジェクト、およびこのフォルダー内の新しいオブジェクトの作成(I)

フォルダー内の次のオブジェクトのみ(O):

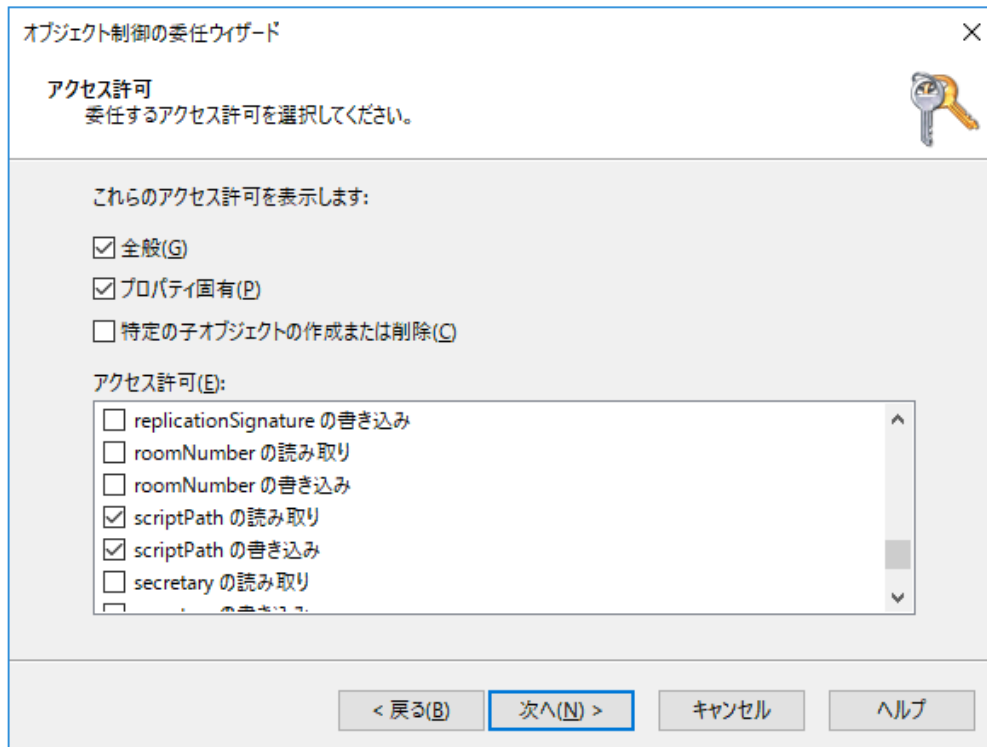
- サイトの設定 オブジェクト
- サブネット オブジェクト
- サブネット コンテナ オブジェクト
- プリンター オブジェクト
- ユーザー オブジェクト
- 信頼される側のドメイン オブジェクト
- 共有フォルダー オブジェクト

選択されたオブジェクトをこのフォルダーに作成する(C)

選択されたオブジェクトをこのフォルダーから削除する(D)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

8. 「アクセス許可」画面では「全般」と「プロパティ固有」を選択します
「アクセス許可」の一覧から、以下を有効化して「次へ」をクリックします
「scriptPath読み取り」
「scriptPath書き込み」



9. 「完了」をクリックします

注意: このアクセス許可は、ログオンスクリプトパスの変更のみを有効にします。

削除されたユーザーレポートを表示するには

「削除されたユーザーレポート」を表示するためには、**Domain Admins**グループに所属する必要があります。

GINAのインストールを実行するには

ADSelfService PlusのウェブコンソールからGINAをインストールするためには、**Domain Admins**グループに所属する必要があります。

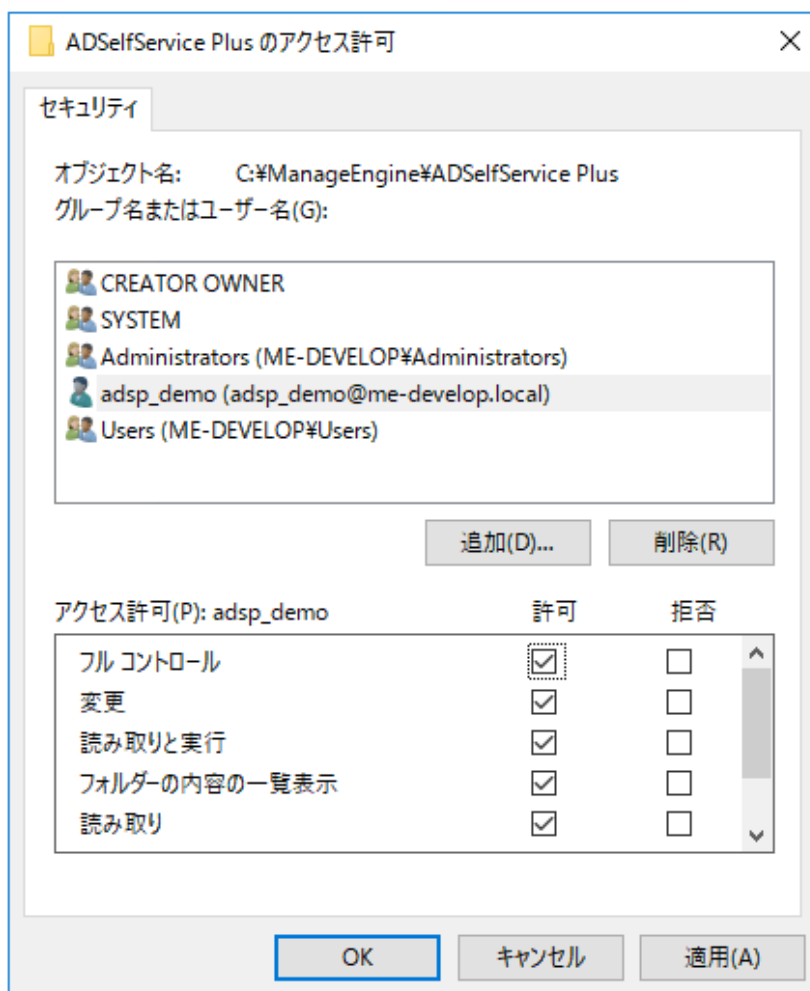
ドメイン管理者資格情報を使用できない場合は、GINAをグループポリシーオブジェクト(GPO)またはSystem Center Configuration Manager(SCCM)を使用して手動でインストールできます。

他のアクションを実行するには

ADSelfService Plusに登録されているサービスアカウントと、ADSelfService Plusをサービスとして起動するために使用されるローカルユーザーアカウントには、製品インストールフォルダに対するフルコントロールアクセス許可が与えられている必要があります。

アクセス許可を利用して次のアクションを実行します：

- サービスパックをインストール
- レポートを生成
- 製品を起動
- ライセンスを適用
- ダッシュボードの表をアップデート
- データのバックアップおよびリストア
- 従業員の写真を表示し、ユーザーに自己更新のオプションを提供



ManageEngine ADSelfService Plusについて

ADSelfService Plusは、Active Directory用のセルフサービスパスワード管理およびシングルサインオンのためのソリューションツールです。これは、パスワードのセルフサービス、パスワードの有効期限の通知、セルフサービスでのAD情報の更新、マルチプラットフォームのパスワード同期、クラウドアプリケーションのシングルサインオン機能を提供します。ADSelfService Plusは、パスワードリセットチケットを減らし、コンピュータのダウンタイムによるエンドユーザーの待機時間を緩和することで、ITヘルプデスクをサポートします。

詳細については、www.manageengine.jp/products/ADSelfService.Plusをご覧ください。